

PINNEO'S
PRIMARY GRAMMAR
OF
ENGLISH LANGUAGE

齋藤八郎譯

ピ
子
ヲ
氏

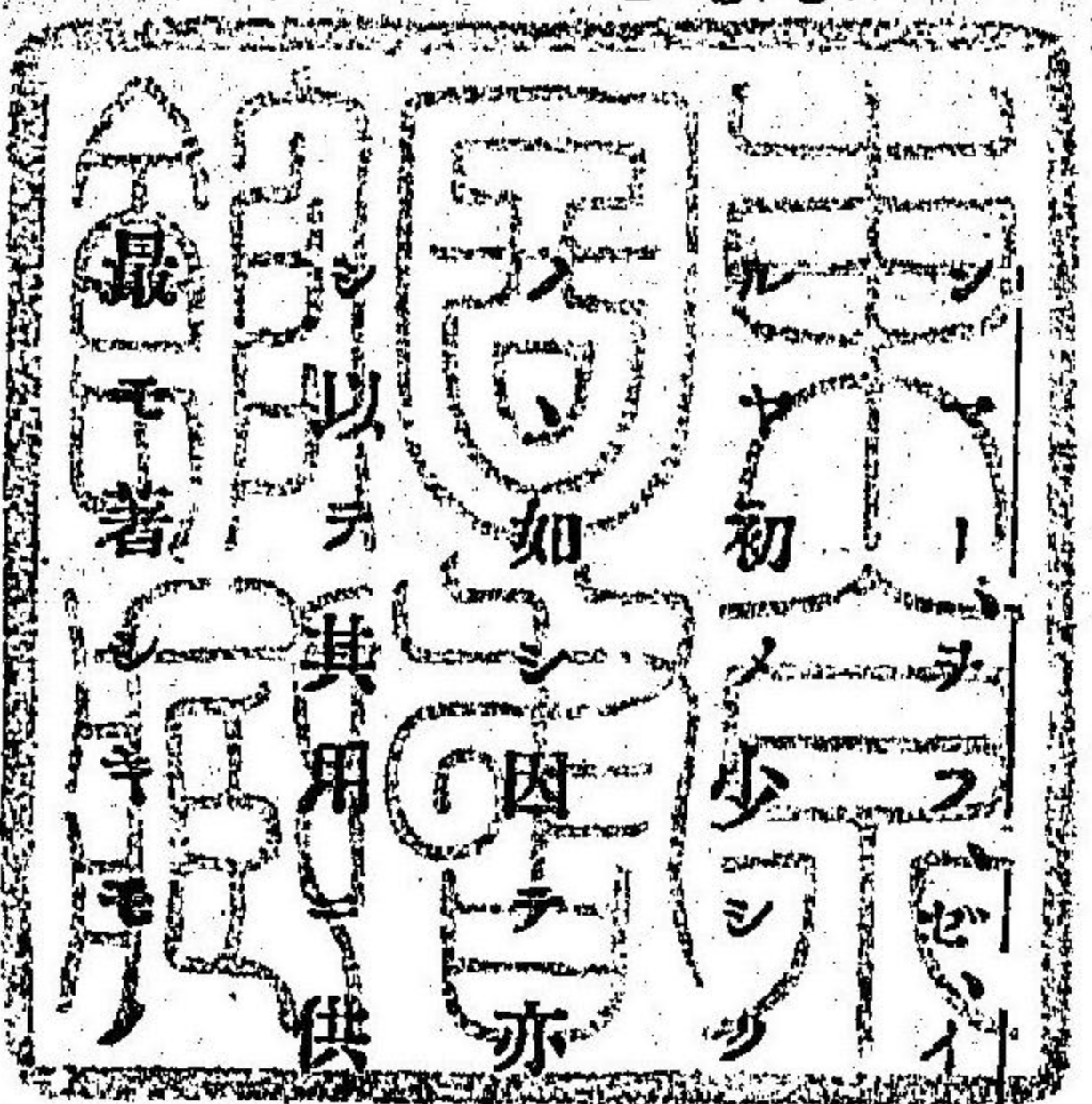
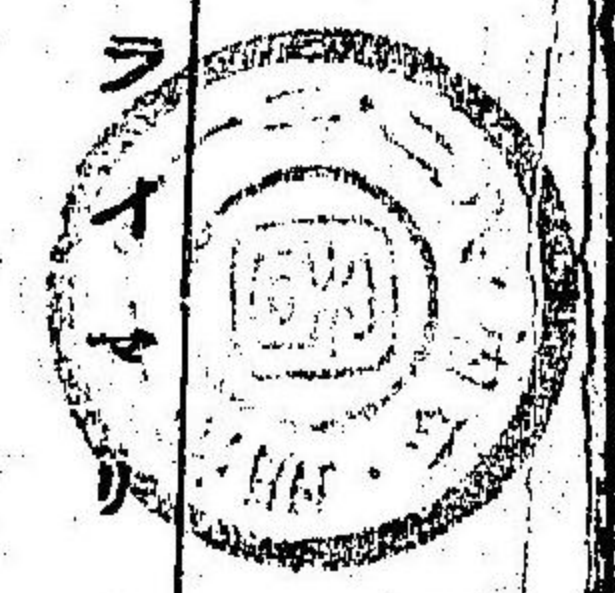
英文典直譯會

東京書肆
松成堂發

特27
506 No 6896

緒言

此書米國人ピチオ氏ノ所著ニシテ原名チアライマリー、グラ



ングリス、ランゲージ、ト曰フ抑モ予ガ此器ア
 譯シテ之ヲ初學ニ試ムルニ大ニ裨益アルモ
 止マス其全備スルニ及ビ請フモノアレハ寫
 セリ而シテ餘暇獨修ノ徒ニ至リテハ其効驗
 アリ頃者書肆某氏來リ予ニ謂テ曰ク此ノ如
 キ要帙チシテ何ソ其レ筐底ニ沈マレムルチ爲ス若カス李棗
 チ災シ以テ世ニ公ニセンニハト予應シテ曰ク今ヤ世既ニレ
 類ノ多キ當ニ汗牛充棟ノミナラス且此ノ如キ拙譯不文何

ノ取ルトコロカアラント氏亦曰ク然ラス假令此類ノ多キ汗
牛充棟膏ナラザルモ當今洋學ノ盛ナル之ヲ講習スル者ノ
多キニ比スレハ之ヲ尙ホ足ラスト爲ス況ンヤ其舛裁各々異
ナルモノアルチャト是ニ於テ乎決意以テ氏ニ附シテ刊行ス
而シテ此書本ト初學ヲシテ句讀ヲ習ハシムルニ過キサラチ
以テ疑問文及演習文等ノ如キニ至ツテハ畧シテ之ヲ譯セス
看官其レ之ヲ諒セヨ設シ之ヲ購得シ以テ研究スルモノアラ
ハ大ニ其修學ノ津筏トナランカ

ピ子ヲ氏英文典直譯

東京 齋藤桂堂 譯

○第一編

言語ノ部分

其處ニ英吉利ノ國語ニ於テ多クノ詞ガアル然シナガラ其處ニ詞ノ唯僅カノ殊異ナル種類
即チ種類ガアル

第一節 詞ノ種々ノ種類即チ階級ガ言語ノ部分ノ一般ノ名ニ由テ呼ハル、

部分ト云フ詞ハ區分チ意味シ而シテ言語ト云フ詞ハ國語チ意味スル是故ニ言語ノ部分ト云
フ言顯シハ國語ノ區分チ意味スル

余輩チシテ今言語ノ是等ノ部分即チ國語ノ區分チ吟味セシメヨ

第一 名詞

○名詞ト云フ詞ガ何チ意味シ爲スカ ●第二節名詞ト云フ詞ハ名チ意味スル

○「ヘンリーガ遊ビツ、アル」ト云フ文章ニ於テ何ノ詞ガ人ノ名チアルカ ●答

○「兒童が走りッ、アル」ト云フ文章ニ於テ何ノ詞ガ人ノ名デアアルカ ●答、「兒童」ガ

○「犬が吠ル」ト云フ文章ニ於テ何ノ詞ガ動物ノ名デアアルカ

○「余ハ「オハヨ」ニ於テ住マフ」ト云フ文章ニ於テ何ノ詞ガ場所ノ名デアアルカ

○「書物が余レノデアアル」ト云フ文章ニ於テ何ノ詞ガ物ノ名デアアルカ

○「信實ガ愛スベクアル」ト云フ又文章ニ於テ何ノ詞ガ我等ガ見能ハヌ然シナガラ就イテ考

へ能フ或ルモノ、名デアアルカ ●答、「信實」ガ

○名詞ト云フ詞ガ名ヲ意味スル以上ハ名詞ハ何デアアルカ ●第三節 名詞ハ或ルモノ、名デア

アルヘンリ、童男、オハヨ、書籍、信實、ノ如シ

分解

○分解ニ於テ爲サレベキ第一ノ事物ハ何デアアルカ ●第四節 分解ニ於テ爲サレベキ第一ノ

事物ハ詞ガ言語ノ如何ナル部分デアアルカヲ話スベクアル

○名詞ハ言語ノ他ノ部分カラ如何ニ區別サレ得ルカ ●第五節 其レノ意味ニ由テ其レノ常

ニ或事物ノ名デアアル所デ、林檎、人、智慧、ノ如シ

固有及び普通ノ名詞

○固有ト云フ詞ハ何ヲ意味シ爲スカ ●第六節 固有ト云フ詞ハ格段或ハ適當ト云フヲ意

味スル

○固有名詞ハ何デアアルカ ●第七節 固有名詞ハ一個ノ物ニマデ格段ナル名デアアル、若爾日

、紐育、「オハヨ」ノ如シ

(若爾日ト云フ名ハ或ル格段ナル人ニ迄、特有デアアル、紐育ト云フ名ハ格段ナル都府ニ

迄、而シ「オハヨ」ト云フ名ハ河或ハ州ニ迄「特有デアアル」

○固有名詞ハ如何ニ常ニ始マリナスカ ●第八節 固有名詞ハ常ニ頭字ヲ以テ始マル

○普通ト云フ詞ハ何ヲ意味シ爲スカ ●第九節 普通ト云フ詞ハ一般ト云フヲ意味スル

○普通名詞ハ何デアアルカ ●第十節 普通名詞ハ一般ノ名即チ多クノ一個物ニマデ普通ノ名

デアアル童男、人、河ノ如シ

(其處ニ世界ニ於テ多クノ童男ガアル然シナガラ童男ト云フ名ハ總テ彼等ニマデ普

アル、左様ニ其處ニ多クノ人及ビ河ガアル然シナガラ人及ビ河ト云フ名ハ總テ彼等ニマテ普通デアアル

○何時固有名詞ガ普通名詞トナリ爲スカ●第十一節 固有名詞ハ彼等ガ種々ノ人或ハ物ニ向テ用ヒラル、キニ普通名詞トナル、「惹迷斯」氏「約翰遜」氏「亞米利加人」「西班牙人」ノ如シ

第二 名代詞

○代名詞ト云フ詞ハ何チ意味シ爲スカ●第十二節 代名詞ト云フ詞ハ名詞ノ代リ即チ名詞ニ向テト云フコチ意味スル

○若シ查列斯ハ幸福デアアル如何トナレバ查列斯ガ善クアル故ニト云フコノ代リニ余輩ハ查列斯ガ幸福デアアル如何トナレバ彼ガ善クアル故ニト云フナラバ余輩如何ナル詞チ查列スト云フ名詞ノ代リニ用ヒ爲スカ●答、「彼ガ」

○余輩ハ「彼ガ」チ何ント呼ブデアラウカ●代名詞ト如何トナレバ其レガ名詞ニ代ハル故ニ

○代名詞ハ何デアアルカ●第十三節 代名詞ハ名詞ノ代リニ用ヒラル、所ノ詞デアアル、「查列斯ガ幸福デアアル如何トナレバ彼ガ善クアル故ニ」ノ如シ

○若シ余ガ彼女ハ善ク讀ムト「メーリー」ニ付テ云フナラバ何ガ代名詞デアアルカ●「彼女」ガ代名詞デアアル如何トナレバ其レガメリーナル名詞ニ代ハル故ニ

○若シ余ガ其レガ吠ルト犬ニ付テ云フナラバ何レガ代名詞デアアルカ●「其レ」ガ代名詞デアアル如何トナレバ其レガ「犬」ナル名詞ニ向テ用ヒラル、故ニ

○若シ余ガ彼等ハ學校ニ迄行クト或ル小兒ニ付テ云フナラバ何レガ代名詞デアアルカ●「彼等」ガ代名詞デアアル如何トナレバ其レガ「小兒」ナル名詞ニ代ハル故ニ

○若シ若爾日ニ迄話スコニ於テ若爾日ガ行カネバナラヌト云フコノ代リニ汝ガ行カネバナラヌト余ガ云ナラバ何レガ代名詞デアアルカ●「汝ガ」ガ代名詞デアアル如何トナレバ其レガ話シカケラレタル人ノ名ニ向テ用ヒラル、故ニ

○若シ汝ハ余ガ行クデアロウト云フナラバ如何ナル代名詞チ汝ハ汝自身ノ名ノ代リニ用ヒ

○若シ一緒ニ若爾日及ビ汝自身ニ付テ話スコトニ於テ汝が余輩ハ行クデアロウト云フナラハ如何ナル代名詞ヲ汝ハ汝自身ノ名ノ代リニ用ヒ爲スカ●答、「余輩ガ」

○汝ハ今汝ガ學ンダ代名詞ヲ繰返スデアロウカ●第十四節 余、余輩、汝、彼レ、彼女、其、彼等

第三 形容詞

○甘キ林檎酸キ林檎ト云フ句ニ於テ如何ナル詞ガ其レノ味ヒノ思想ヲ附加ヘルコトニ由テ林檎ト云フ名詞ヲ制定スルカ●答、甘キ及ビ酸キト云フ詞ガ

○大ナル林檎、小ナル林檎ト云フ句ニ於テ如何ナル詞ガ其レノ大サノ思想ヲ附加ヘルコトニ由テ林檎ト云フ名詞ヲ制定スルカ

○白キ林檎、赤キ林檎、黄色ノ林檎ト云フ句ニ於テ如何ナル詞ガ其レノ色ノ思想ヲ附加ヘルコトニ由テ林檎ト云フ詞ノ意味ヲ制定スルカ

○總テノ人、或人、僅カノ人、二個ノ人ト云フ句ニ於テ如何ナル詞ガ數ノ思想ヲ附加ヘルコトニ由テ人ト云フ名詞ヲ制定シ或ハ其レノ意味ヲ變ズルカ●答、總テ、或ル、僅、及ビ

二個

○形容詞ト云フ詞ハ何チ意味シ爲スカ●第十五節 形容詞ト云フ詞ハ其レガ附加ヘ能フト云フコト意味スル

○余輩ハ甘キ、酸キ、大ナル、白キ、總テ、或ル、二個等ノ如キ個様ナル詞ヲ何ト呼ブデアロウカ●第十六節 形容詞ト如何トナレハ彼等ハ其レト共ニ彼等ガ用ヒラル、所ノ格段ナル名詞ノ意味ニ迄或ルモノヲ附加ヘ而シテ其レヲ制定シ或ハ説明スル故ニ

○然ルレハ形容詞ハ何デアアルカ●第十七節 形容詞ハ名詞或ハ代名詞ヲ制定スル可ク用ヒラル、所ノ詞デアアル、小サキ林檎、大ナル人、二ツノ樹木、彼ガ善シアルノ如シ

○汝ハ此釋義ニ於テ用ヒラレタル如ク「制定スル」ト云フ詞ニ由テ何チ理會シ爲スカ●第十八節 其レガ限リ或ハ擴ゲルヘリ意味ヲ變ズルト云フコトヲ視ノス

○形容詞ガ言語ノ他ノ部分カラ如何ニ區別サレ得ルカ●第十九節 彼等ノ名詞ヲ制定スルコトニ由テ、「賢キ人」「或ル樹木」「眞實ノ話」ノ如シ

An. A, 及n The.

○An apple ト云フ句ニ於テ何レガ形容詞デアアルカ●第二十節 An ト云フ詞ガ形容

アル如何トナレバ其レガ「ツ」ノ林擒ニ迄其レノ應用ヲ限ル「ニ由テ林擒ト云フ名詞ヲ制定スル故」

○「ヨナル詞が何カラ導カル、カ」●第二十一節 An ハ e チ取除シ「ニ由テ (one ト云フ詞ノ如ク同シモノ) are ナル舊キ詞カラ導カル、而シ其レガ時トシテハ尙ホ更ニ A ニ迄變ゼラル、

○ The man ト云フ句ニ於テ何レガ形容詞デアルカ ●第二十二節 The ト云フ詞が形容詞デアル如何トナレバ其レガ或ル格段ナル人ニ迄其レノ應用ヲ限ル「ニ由テ人ト云フ名詞ヲ制定スル故」

○ The ナル詞が何カラ導カル、カ ●第二十三節 The ハ其ノト云フ詞カラ導カル、○ The man ガ that man ノ如ク甚タ殆ンド同シモノチ意味スル

○如何ナル他ノ名ガ An 或ハ A 及ビ the ト云フ形容詞ニ迄與ヘラル、カ ●第二十四節 An 或ハ A 及ビ the ト云フ形容詞が又冠詞ト呼ズル、

○何時 An ト云フ詞が用ヒラル、カ而シ何時 A ト云フ詞が用ヒラル、カ ●第二十五節 An 或ハ A ト云フ詞が用ニエシク適當ナル形容詞デアル時ニ若シ次ノ詞ガ e、o、i、o、u、ナル母韻ノ各々或ハ ou 或ハ oi ナル二重韻ノ響音チ以テ始マルナラズ An ト云フ詞が用ヒラル、 an apple, an egg an hour 等ノ如シ、若シ否ラヌナラズ A ト云フ詞が用ヒラル、 a man, a house, 等ノ如シ

第四 働詞

○「顯理が遊ブ」ト云フ文章ニ於テ何ノ詞が顯理ガ爲シツ、アル所ノモノチ顯ハスカ ●答、「遊ブ」

○何ノ詞が「顯理が乗ル」「顯理が散步スル」「顯理が笑フ」ト云フ次ノ文章ノ各ニ於テ顯理ガ爲シツ、アル所ノモノチ顯スカ

○汝ハ汝ガ爲シ能フ所ノモノチ言顯ス所ノ或ル他ノ詞チ記載スルデアロウカ

○「顯理ガ此處ニ在ル」「顯理ガ此處ニ殘ル」ト云フ文章ニ於テ如何ナル詞ガ此ニ顯理ノ在ル「ノ思想チ言顯スカ ●答、「在ル」及ビ「殘ル」

○遊ブ「乗ル」「話ス」「在ル」「殘ル」等ノ如キ箇様ナル詞ガ働詞ト呼バル、然ルモハ働詞

何デアルカ●第二十六節 働詞ハ動作或ハ有様ヲ視メス所ノ詞デアル、「余ガ乗ル」汝ガ歩行スル「余輩ガ殘ル」ノ如シ

○働詞ト云フ詞ハ何チ意味シ爲スカ●第二十七節 働詞ト云フ詞ハ「詞」ト云フチ意味スル

○何故ニ言語ノ此部分ガ詞或ハ働詞ト呼ハル、カ●第二十八節 如何トナレハ其處ニ其レ無シニ一ノ完全ナル文章ガアリ能ハヌ如ク其レハ國語ニ於テ最モ大切ナル詞デアル故ニ

○働詞ガ言語ノ他ノ部分カラ如何ニ區別サレ得ルカ●第二十九節 爲スコ或ハ有ルコノ其レノ指視ニ由テ、或ハ其レノ前ノ名詞或ハ代名詞ト共ニ其レノ意味ヲ爲スコニ由テ、「人ガ食フ」「若爾日ガ乗ル」「彼ガ坐スル」「余ガアル」等ノ如シ

移行及ビ不移行働詞

○移行ト云フ詞ハ何チ意味シ爲スカ●第三十節 移行ト云フ詞ハ達シ能フト云フコチ意味スル

○移行働詞ハ何デアルカ●第三十一節 移行働詞ハモノ其レニ於テ働キガ働ク所ノ其レカラ働キカケラル、所ノ或ルモノニ迄達スル所ノモノデアル、トーマスガ林檎チ食フノ如シ(茲ニ食フコノ働ガトーマスカラ林檎ニ迄達スル)

○不移行ト云フ詞ハ何チ意味シ爲スカ●第三十二節 不移行ト云フ詞ハ移行カヌト云フコチ意味スル

○不移行働詞ハ何デアルカ●第三十三節 不移行働行ハモノ其レハ達セヌ然シナガラ働者ニ於テ終ルトシテ働キチ視メス所ノモノデアル、トーマスガ散步スルノ如シ其處ニ散步スルコノ働ガトーマスノ外ニ何者チモ感動セヌ委シク言ヒハ其レガ彼ニ於テ終ル○或ハ其レガ有ルコチ言顯ハス、余ガ在ルノ如シ

第五 副詞

○副詞ト云フ詞ハ何チ意味シ爲スカ●第三十四節 副詞ト云フ詞ハ働詞ニ迄ト云フコチ意味ス

○彼ガ賢ク話スト云フ文章ニ於テ如何ナル詞ガ働詞ニ迄制定スル所ノ思想チ附加ヘルカ或ハ如何ニ彼ガ話スカチ示スカ●答、賢ク

○彼が甚々賢シアルト云フ文章ニ於テ如何ナル詞ガ「賢キ」ト云フ形容詞ヲ制定スルカ●
答、「甚々」

○副詞ハ何デアルカ●第三十五節 副詞ハ働詞形容詞或ハ他ノ副詞ヲ制定スベク用ヒラル
、所ノ詞デアル、「彼が賢ク話ス」「彼が甚々賢シアル」「彼が甚々賢ク働ク」ノ如シ

○言語ノ此部分ガ何故ニ副詞ト呼バル、カ●第三十六節 如何トナレバ其レノ重モナル用
ヒガ斯様ニ其レノ意味ヲ制定シツ、働詞ニ迄或ル思想ヲ附加ヘベクアル故ニ

○何レガ次ノ文章ノ各ニ於テ副詞デアルカ、「彼が愚ク話ス」「彼ハ急速ニ話ス」「彼ハ徐々ニ
話ス」「彼が快ク話ス」

○形容詞及ビ副詞ノ間ノ區別ハ何デアルカ●第三十七節 形容詞ハ名詞ヲ制定スル、副詞
ハ働詞、形容詞、及ビ他ノ副詞ヲ制定ス

○如何ニ多クノ副詞ガ形造ラル、カ●第三十八節 多クノ副詞ガマニテ附加ヘルコト由テ
形容詞カラ形造ラル、「遅キ」「遅ク」「迅速ナル」「迅速ク」「疾キ」「疾ク」「重キ」「重ク」

ノ如シ○斯様ニ副詞ノ大ナル數ガ「マニ」ニ於テ終ル

第六 前置詞

○「彼ガ以ヨシニ」迄行キシ」「彼ガヨシニ」向テ行キシ」「彼ガヨシト共ニ」行キシ」ト云フ文
章ニ於テ如何ナル小サキ詞ガ went 及ビ John ト云フ詞ノ間ノ關係ヲ顯ハスカ●答、

To, for, 及ビ with

○斯様ナル詞ガ前置詞ト呼バル、然ルモハ前置詞ハ何デアルカ●第三十九節 前置詞ハ
他ノ詞ニ迄名詞或ハ代名詞ノ關係ヲ示スベク用ヒラル、所ノ詞デアル、彼ガヨシト共

ニ行キシ」「ヨシエームスガ彼ニ」向テ行キシ」ノ如シ
○前置詞ト云フ詞ハ何ヲ意味シ爲スカ●第四十節 前置詞ト云フ詞ハ前ニ置カレタルト云

フコトヲ意味スル
○何故ニ前置詞ト云フ名ガ言語ノ此部分ニ迄與ヘラル、カ●第四十一節 如何トナレバ其
レガ通常名詞或ハ代名詞ノ前ニ置カル、故ニ

○汝ハ重モナル前置詞ノ表ヲ與ヘルデアロウカ●第四十二節 前置詞○「周圍ニ」「上ニ」

「横切テ」「後ニ」「對シテ」「沿フテ」「中ニ」「中ニ」「周圍ニ」「於テ」「前ニ」「後ニ」「下ニ」

ニ「傍ニ」「間ニ」「中間ニ」「越テ」「由テ、側ニ」「拘リテ」「下ニ」「間ニ」「除キテ」「外ニ」「向テ」「自」「於テ」「迄」「代リニ」「拘ハラズ」「自、之」「離レテ」「於テ、上ニ」「越ヘテ、上ニ」「カラ「付テ、關シテ」「付テ、關シテ」「周リテ」「以來」「通シテ、因テ」「全ク通シテ」「マデ」「迄」「拘リテ、就テ」「方ニ」「下ニ」「下ニ」「マデ」「上ニ」「上ニ、於テ」「共ニ」「内ニ」「外ニ、無シニ」「外ニ」「外ニ、除テ」「及ビ」「ヨリ」「ト云フ詞が時トシテハ前置詞デアル

「近ク」「側ニ、近ク、接シテ」「及ビ」「如ク」「ト云フ詞が或者ニ由テ前置詞ト考ヘラル、

第七 接續詞

○汝ハ只「ッ」ノ文章ヲ作スベク如ク左様ニ「汝ガ行カチバナラヌ」「余ガ行カネバナラヌ」「ト云フニツノ文章ヲ結合スルデアロウカ」○「汝ガ行カチバナラヌ而シ余ガ行カチバナラヌ」或ハ「汝及ビ余ガ行カチバナラヌ」

○何ノ詞ガ彼等ヲ結合スルカ●答、(及ビ)

○汝ハ「女兒ガ來リシ」「男兒ガ離レテ立チシ」「ト云フニツノ文章ヲ結合スルデアロウカ」○「女兒ガ來リシ然シナガラ男兒ガ離レテ立チシ」

○何レガ結合セル所ノ詞デアルカ●答、「然シナガラ」

○接續詞ト云フ詞ハ何チ意味シ爲スカ●第四十三章 接續詞ト云フ詞ハ聯接スル「或ハ」緒ニ結合スルト云フ「チ意味スル

○and 及ビ but ノ如キ斯様ナル詞ガ何ト呼バル、カ●接續詞

○接續詞ハ何デアルカ●第四十四節 接續詞ト云フ詞ハ文章ヲ聯接スベク用ヒラル、所ノ詞デアル「彼レ及ビ余ガ往カチバナラヌ」「若爾ガ丈高クアル然シナガラ維廉ガ尙丈高クアル」ノ如シ

○汝ハ重モナル接續詞ノ目錄ヲ與ヘルデアラウカ●第四十五節 接續詞○「及ビ」「而シテ」「然シ、縱令」「亦、並ニ」「故ニ、如ク」「如何トナレバ」「并ニ」「然シナガラ」「此カ彼カ」「非ザレバ」「如何トナレバ、故ニ」「若シ、ナラバ」「ヒメ爲ニ」「何方ニモナキ」「亦ナシ」「然レハ、拘ハラズ」「或ハ、即チ」「若シ、ナラバ」「以前ニ」「左様ニ」「尙ホ」「ヨリ、越テ」「事」然レ「夫故ニ」「縱令、雖モ」「……スルニ非レバ」「是故ニ」「何レカ、トモ」「然レハ、尙ホ」

第八 間投詞

○「余ノ子供ガ嗚呼失ナル、」
「オー彼等ガ彼等ノ危誰ヲ考ヘルデアラウヲ」ト云フ文章ニ於テ何ノ詞ガ尙多ク格段ニ感動ヲ示スカ●答、「嗚呼」及ビ「オー」

○斯様ナル詞ガ間投詞ト呼バル、○然ルモハ間投詞ハ何デアルカ●第四十六節 間投詞ハ感動ヲ言顯スヘシ嘆聲トシテ用ヒラル、所ノ詞デアル、「オー徳ヨ」「嗚呼余ノ小供ヨ」ノ如シ

○間投詞ト云フ詞ハ何ヲ意味シ爲スカ●第四十七節 間投詞ト云フ詞ハ間ニ投込マレタル或ルモノヲ意味スル

○何故ニ言語ノ此部分ガ左様ニ呼バル、カ●第四十八節 如何トナレハ其レガ時トシテ文章ノ他ノ部分ノ間ニ投込マル、故ニ「私ノ朋友ガ嗚呼死ンデアル」ノ如シ

○汝ハ重ナル間投詞ノ目錄ヲ與ヘルマラヤカ●第四十九節 間投詞○Adieu' Ah' Aha' alack' alas' away' fy' ha' haif' halloo' hem' hey' heyday' hist' he' hum' hush' hurra' huzza' indeed' la' lo' o' oh' pshaw' tush'

○他ノ詞ガ會テ間投詞トシテ用ヒラル、カ●第五十節 言語ノ他ノ部分ガ時トシテ間投詞トシテ用ヒラル、be gone' behold' トムノ動詞 mercy' トムノ名詞 strange' トムノ形容詞、等ノ如シ

○第二篇

言語ノ部分

彼等ノ性質及ビ關係

余輩ハ互ヒカラ彼等ヲ區別スルベキ丈ケ左様ニ言語ノ種々ノ部分ヲ檢査シタ○余輩ハ今彼等ノ性質及ビ互ヒニマデ彼等ノ關係ノ或モノヲ説明スルデアロウ

○如何ニ多ク而シテ何が英吉利ノ國語ニ於テ言語ノ部分デアルカ●八ツガ即チ

- 第一) 名詞
- 第二) 代名詞
- 第三) 形容詞
- 第四) 動詞
- 第五) 副詞
- 第六) 前置詞
- 第七) 接續詞
- 第八) 間投詞

○言語ノ部分ノ性質ニ由テ何方意味セラル、カ●第五十一節 其レニ迄屬スル所ノ其レナリ、譬バ名詞ニマデ數及ビ格、動詞ニマデ法及ビ時等ノ如シ

第一 名詞

○集合名詞ハ何デアアルカ●第五十二節 普通名詞ガ一體トシテ考ヘラレタル人或ハ物ノ數多ク顯スキニ其レガ集合名詞ト呼バル、譬バ國民、集會、群ノ如シ

○文章ハ何デアアルカ●第五十三節 文章ハ完全ナル意味ヲナス所ノ詞ノ集合デアアル、譬バ「生活ガ短クアル」ノ如シ

人稱

○名詞ニ迄適用サレタル人稱ハ何デアアルカ●第五十五節 人稱ハ話シカケル、話シカケラレタル或ハ風評サレタル人ニ關リタル名詞ノ區別デアアル

○如何ニ多ク而シテ如何ナル人稱ヲ名詞ガ持チ爲スカ●第五十六節 名詞ガ第一、第二、及ビ第三(人稱)ト呼バレタル三ツノ人稱ヲ持ツ

○何時名詞ガ第一人稱ニ於テアルカ●第五十七節 名詞ハ其レガ話ス所ノ人ヲ顯スキニ第一人稱ニ於テアル、「アレキサンダーナル余ハ魯西亞ノ皇帝デアアル」ノ如シ

註 此處ニアレキサンダー及ビ皇帝ト云フ辭ハ第一人稱ニ於テアル如何トナレハ彼等ガ話ス所ノ人ヲ顯ハス故ニ

○何時名詞ガ第二人稱ニ於テアルカ●第五十八節 名詞ハ其レガ話シカケラレタル人ヲ顯スキニ第二人稱ニ於テアル、「アレキサンダー汝ハ魯西亞ノ皇帝デアアル」ノ如シ

註 此處ニアレキサンダー及ビ皇帝ト云フ辭ハ第二人稱ニ於テアル如何トナレハ彼等ガ話シカケラレタル人ヲ顯ハス故ニ

○何時名詞ガ第三人ニ於テアルカ●第五十九節 名詞ハ其レガ風評サレタル人或ハ物ヲ顯スキニ第三人稱ニ於テアル、「アレキサンダーハ魯西亞ノ皇帝デアリシ」ノ如シ

註 此處ニアレキサンダー及ビ皇帝ト云フ辭ハ第三人稱ニ於テアル如何トナレハ彼等ガ風評サレタル人ヲ顯ハス故ニ

分解

○分解ニ於テノ第一ノ進ミガ何デアアルカ(第四節ヲ見ヨ)○分解ニ於テノ第二ノ進ミガ何デアアルカ●第六十節 分解ニ於テ第二ノ進ミハ辭ノ性質ヲ記載スルベシアル、委ク言ヒマ

若シ其レガ名詞デアアルナラハ其レノ人稱、性質、等若シ動詞ナラハ其レノ法、時、等ヲ

性

- 性ト云フ辭ガ何ヲ意味シ爲スカ●第六十一節 性ト云フ辭ハ兩性ト云フ辭ヲ意味スル
- 名詞ニ迄適用サレタル性ハ何デアルカ●第六十二節 性ハ兩性ニ關スル區別ヲ顯ス
- 如何ニ多クノ而ノ如何ナル性ヲ名詞ガ持ツカ●第六十三節 名詞ガ四ツノ性ヲ持ツ即チ男性、女性、中性、及ビ普通性ナリ
- 男性ト云フ辭ハ何ヲ意味シ爲スカ●第六十四節 男性ト云フ辭ハ男子意味スル
- 如何ナル名詞ガ男性ノモノデアルカ●第六十五節 男ノ名ガ男性ノモノデアアル、譬ハ男、童男、息子、ノ如シ
- 女性ト云フ辭ハ何ヲ意味シ爲スカ●第六十六節 女性ト云フ辭ハ女子意味スル
- 如何ナル名詞ガ女性ノモノデアアルカ●第六十七節 女ノ名ガ女性ノモノデアアル譬ハ童女、婦人、牝鶏ノ如シ
- 中性ト云フ辭ハ何ヲ意味シ爲スカ●第六十八節 中性ト云フ辭ハ偏タヨラズト云フ辭ヲ意味スル

意味スル

- 如何ナル名詞ガ中性ノモノデアアルカ●第六十九節 男子モ又女子モ顯サヌ所ノ名詞ガ中性ノモノデアアル、譬ハ樹木、家、碑、ノ如シ
- 如何ナル名詞ガ普通性ノモノデアアルカ●第七十節 男ニモ又女ニモ適用サレ得ル即チ兩性ニ迄普通デアアル所ノ名詞ガ普通性ノモノデアアル、親、小供、鳥ノ如シ
- 註 親ハ父又ハ母デアリ得ル而シ夫故ニ普通性ノモノデアアル、小供ハ息子又ハ息女デアリ得ル而シ夫故ニ普通性ノモノデアアル○若シ親、小供、等ナル辭ガ明カニ男ニ迄關ハルベシ如シ左様ニ用ヒラル、ナラバ彼等ガ男性デアアル、若シ彼等ガ女ニ迄關ハルナラバ彼等ガ女性デアアル
- 男性及ビ女性ヲ區別スルノ種々ノ方法ガ何デアアルカ●第七十一節 其處ニ男性及ビ女性ヲ區別スルノ三ツノ方法ガアル即チ第一 異ナル辭ニ由テ、男兒、女兒ノ如シ第二 異ナル語尾ニ由テ、猶太人、猶太婦人ノ如シ第三 名詞ノ前ニ置カシタル異ナル辭ニ由テ、下男、下女ノ如シ

○汝ハ第一方法ノ或例ヲ與ヘルデアロウカ●第七十二節 第一ニ各異ノ辭ニ因テ、即チ

男性	(男兒)	女性	(女兒)	男性	(叔父)	女性	(叔母)
(男)	(女)	(女王)	(少女)	(甥)	(姪)	(王)	(女主人)
(少年)	(息子)	(母)	(妻)	(君)	(夫人)	(父)	(貴婦人)
(兄弟)	(姊妹)	(魔術者)	(雌鷄)	(僧)	(尼)	(雄鷄)	(雌鷄)
		(女魔術者)					

○汝ハ第二方法ノ或ル例ヲ與ヘルデアロウカ●第七十三節 第二ニ各異ノ語尾即チ語尾ニ由テ、即チ

男性	(猶太人)	女性	(猶太婦人)	男性	(歌者)	女性	(歌妓)
(嫡嗣)	(嫡女)	(詩人)	(女詩人)	(皇帝)	(皇后)	(伯爵ノ人)	(伯爵夫人)
(住持)	(尼寺ノ住持)	(勇者)	(女勇者)	(土耳其帝)	(土耳其女帝)	(役者)	(女役者)
		(執行者)	(女執行者)				

○汝ハ第三方法ノ或ル例ヲ與ヘルデアロウカ●第七十四節 第三ニ各異ノ名詞ノ前ニ置カレタル各異ノ辭ニ因テ即チ

男性	(下男)	女性	(下女)
(牡山羊)	(牝山羊)	(雄雀)	(雌雀)
(男ノ兒)	(女ノ兒)		
(雄雀)	(雌雀)		

○男又女ノ名デモアラヌ所ノ名詞ガ時トシテ如何ニ用ヒラルルカ ●第七十五節 男又女ノ名デアラヌ所ノ名詞ガ時トシテ男性或ハ女性ニ於テ用ヒラル、
「太陽ガ彼ノ勢力ニ於テ光ル」月ガ彼女ノ美麗ニ於テ昇ル」ノ如シ

○如何ナル性ガ時トシ小兒及ビ動物ニ向テ用ヒラル、カ ●第七十六節 中性ガ時トシ小兒及ビ動物ニ向テ用ヒラル、小兒ニ就テ余輩ハ「其レガ病氣デアル」或ハ犬ニ就テ其レガ快ク走ルト」云ヒ得ル如シ

數

○其處ニ (boy) 及ビ (boys) ト云フ辭ノ間ニ如何ナル差ヒガアルカ ●其處ニ顯ハサレタル男兒ノ數ニ就テ差異ガアル、boy ト云フ辭ハ一人ノ男兒ヲ顯ス而シテ boys ト云フ辭ハ一人ヨリハ尙多クヲ顯ス

○名詞ニ迄適用サレタル數ハ何デアアルカ ●第七十七節 數ハ名詞ノ性質デアアル其レニ由テ其レガ一ツ或ハ一ツヨリ尙多クヲ顯ス

○如何ニ多ク而シテ如何ナル數ヲ名詞ガ持ツカ ●第七十八節 名詞ガ單數及ビ複數ト云フ

二ツノ數ヲ持ツ

○單一ト云フ詞ガ何チ意味シ爲スカ ●第七十九節 單一ト云フ詞ハ單ナル即チ一個ト云フ詞チ意味ス

○單數ハ何チ顯ハシ爲スカ ●第八十節 單數ハ唯一個ヲ顯ス、一樹木、一椅子、等ノ如シ

○複數ト云フ詞ハ何チ意味シ爲スカ ●第八十一節 複數ト云フ詞ハ一個ヨリハ尙多クヲ意味スル

○複數ハ何チ顯ハシ爲スカ ●第八十二節 複數ハ一ツヨリハ尙多クヲ顯ス、樹木、椅子、等ノ如シ

○如何ニ名詞ノ複數ガ一般ニ形造ラル、カ ●第八十三節 名詞ノ複數ガ一般ニ單數ニ迄ニト云フ字チ添ヘルトニ因テ形造ラル、book, books, tree, trees, ノ如シ

○其處ニ複數ヲ形造ルルニ向テ一般ノ規則ニ迄或ル取除ガアル、第一ノモノガ何デアアルカ

●第八十四節 第一、s、柔カナル ch, sh, s、及ビ z ニ於テ終ル所ノ名詞及ビ子韻ニ由テ先立ダレタル。○ニ於テ終ル所ノ詞ガ單數ニ迄 s チ附加ヘルトニ依テ複數ヲ形造ル

譽へ box, boxes; church, churches; wish, wishes; kiss, kisses; topaz, topazes; hero, heroes.

註 斯様ナル辞ニ於テノ複數ハ、ト云フ字ガ、ト云フ字ニ迄前置サル、ト、外規則通りニ形造ラル、而シテ是レガ最モ多クノ場合ニ於テ發音チ容易ナラシメル、ト爲サル、余輩ガ boxes, churches 等、發音シ能ハヌ而シテ夫故ニ余輩ハ彼等チ boxes, churches, トナヌ

○一般ノ規則ニ迄第二ノ取除ガ何デアルカ ●第八十五節 第二、f 或ハ fe ニ於テ終ル所、或ル名詞ガ ves ニ迄是等ノ文字チ變ズル、ト由テ彼等ノ複數チ形造ル、 loaf, loaves; wife, wives ノ如シ

註 次ノ者ガ此種類ノ重モナル詞デアル、 calf, half, elf, self; shelf, life, wife, knife, leaf, beef, sheaf, thief, loaf, wolf, staff (複數 staves 或ハ staffs) wharf (複數 wharves 或ハ wharfs) ○ f 或ハ fe ニ於テノ他ノ名詞ガ規則通りニ彼等ノ複數チ形造ル、譬ハ muff, muffs; brief, briefs; 等ノ如シ

○一般ノ規則ニ迄第三ノ取除ガ何デアルカ ●第八十六節 第三、子韻ノ後ニ直チニ、ト云フ字ニ於テ終ル所ノ名詞ガ ies ニ迄、ト云フチ變ズル、ト由テ複數チ形造ル、譬ハ fly, flies; sky, skies. ノ如シ

註、ト云フ字ニ於テ終ル所ノ多クノ名詞ガ以前、 fly, skie, ladie, 等ノ如シ、 ie ニ於テ終リシ而シテ彼等ノ規則通りノ複數ガ flies, skies, ladies, 等デアルデアロウ、然ルニ單數ノ綴字ガ fly, sky, 等ニ迄變ゼラレタニ複數ノ其レガ保タレヌ、 flies, skies, 等ノ如シ ○若シ、ト云フ字ガ子韻ノ代リニ母韻ニ由テ先立タル、トナラバ如何ニ複數ガ形造ラル、カ ●第八十七節 其レカ然ルニ規則通りニ形造ラル、 day, days; key, keys; delay, delays; 等ノ如シ

○一般ノ規則ニ迄第四ノ取除ガ何デアルカ ●第八十八節 第四、或ル名詞ガ甚々不規則ニ彼等ノ複數チ形造ル ○次ノ者ガ最モ緊要ナル者ノ或者デアル

[入]	同上	[甘口風]	同上
[女]	同上	[蝨]	同上

〔牛〕 同上
 〔小供〕 同上
 〔足〕 同上
 〔鷲〕 同上
 〔豌豆〕 同上

〔鑊名〕 同上
 〔骰子、極印〕 同上
 〔兄弟〕 兄弟
 〔義兄弟〕 兄弟

○他ノ國カカラ導カレタル名詞が時トノ如何ニ彼等ノ複數ヲ形造リ爲スカ●第八十九節
 他ノ國語カラ導カレタル名詞が時トノ其レ等ノ國語ノ規則ニ從テ彼等ノ複數ヲ形造ル、
 index, indices; focus, foci; stratum, strata; cherub, cherubim; bean, beans; 等ノ如シ

○汝ハ數ニ關シテ或ル他ノ不規則ヲ記載スルデアラウカ●第九十節 第一、或名詞が兩數
 ニ於テ同シデアル、deer, sheep, swine, 等ノ如シ

第二、或名詞が音々單數ニ於テノニ用ヒラル、flour, gold, sloth, industry, idleness, 等
 ノ如シ

第三、或者が音々ニ複數ニ於テ用ヒラヌ、alms, ashes, bellows, scissors tongs, lungs, snuffers, 等ノ如シ

第四、名詞トシテ用ヒラル、キニ文字及ビ數字が畧標() 及ビsナル文字ヲ附加ヘル
 ニ由テ彼等ノ複數ヲ形造ル、the *as* 及ビ *bs*; the *es* 及ビ *IOs* ノ如シ

格

○格ト云フ詞ハ何チ意味シ爲スカ●第九十一節 格ト云フ詞ハ形勢或ハ事情ト云フ詞ヲ意
 味スル

○「ジョンが乗リシ」ト云フ文章ニ於テ如何ナル事情ノ下ニジョンが表ハサル、カ●彼が或
 ルモノヲ爲ストシテ顯サル、

○「ジョーシがジョンヲ打チシ」ト云フ文章ニ於テ如何ナル事情ノ下ニジョンが顯ハサル、
 カ●彼が彼ニ迄爲サレタル或ルモノヲ持ツトシテ顯ハサル、

○「是がジョンノ書物デアル」ト云フ文章ニ於テ如何ニ彼が顯ハサル、カ●彼が書物ノ所有
 主トシテ單ニ顯ハサル、

○「ジョンヨ私ニマテ來レ」ト云フ文章ニ於テ如何ニ彼ガ顯ハサル、カ●彼ガ其他或ル者ト結合ナレニ話シカケラル、トシテ顯ハサル、

○是等ノ文章ニ於テジョンガ種々ノ事情或ハ他ノ物體ニ迄ノ關係ノ下ニ表ハサル、而シテヨソナル辭ガ異ナリタル格ニ於テアル、然ラバ名詞ニ迄左様ニ適用サレタル格ニ由テ何が意味セラル、カ●第九十二節 格ハ他ノ辭ニ迄其レノ關係ヲ顯ス所ノ働詞ノ其性質アル

○如何ニ多ク而シ如何ナル格ヲ名詞ガ持チ爲スカ●第九十三節 名詞ガ四ツノ格ヲ持ツ、主格、領格、目的格、及ビ獨立格ナリ

主格

○主格ト云フ詞ハ何チ意味シ爲スカ●第九十四節 主格ト云フ詞ハ名ト云フ詞ヲ意味スル

○「フルトンガ蒸氣船ヲ發明セシ」ト云フ文章ニ於テ誰ガ重モナル性質トシテ名付ケラル、カ●フルトンガ

○何故ニ彼ガ箇様ニ明カニ名付ラル、カ●何トナレバ彼ガ動作者即チ管事者デアル故ニ

○フルトンナル詞ガ如何ナル格ニ於テアルカ●名付ル即チ主格ニ於テ

○主格ガ何チ顯ハシ爲スカ●第九十五節 主格ガ動作者ヲ顯ス、「ノリーガ彼女ノ母ヲ愛スル」地球ガ圓クアル」ノ如シ

○動作者ニ由テ何が意味セラル、カ●第九十六節 動作者ハ或事物ヲ爲シ或ハ或事物デアル所ノ其レデアル、與ヘラレタル例ニ於テ馬利及ビ地球ト云フ詞ノ如シ

○何ト主格ガ常ニ結合セラル、カ●第九十七節 主格ハ常ニ働詞ト結合セラル、其レニ迄其レガ一般ニ主格デアルト云ハル、「ジョンガ乗リシ」ノ如シ、其處ニジョント云フ詞ガ乗リシト云フ詞ニ迄主格デアル「馬利ガ此處ニ在ル」ノ如シ、其處ニ馬利ト云フ詞ガ在ルト云フ詞ニ迄主格デアル

領格

名詞カ時トシテ亦働詞ノ後ニ主格デアル「セームスガ商人デアル」ノ如シ、其處ニセームスト云フ詞ガ「ト云フ働詞ニ迄主格デアル」而シテ商人ト云フ詞ガ其後ニ主格デアル

○領格ト云フ詞ハ何チ意味シ爲スカ●第九十八節 領格ト云フ詞ハ所領ニ關スルト云フ

ヲ意味スル

○顯理ノ帽子ト云フ句ニ於テ如何ナル關係ガ Henry's ト云フ詞ニ由テ顯ハサル、カ●所領或ハ私有權ノ關係ガ○顯理ガ帽子ヲ所持シ或ハ有スル

○領格ガ何ヲ顯シ爲スカ●第九十九節 領格ハ所領主或ハ私有主ヲ顯ス、「若爾日ノ石板」
「馬利ノ書物」ノ如シ

○領格ガ如何ニ形造ラル、カ●第百節 領格ガ一般ニナル文字ト共ニ零標ヲ附加ヘルトニ由テ形造ラル、 George's Mary's、如シ

○ Mary's ニ於テ何レガ零標デアアルカ●スト云フ字ノ前ノ句讀點ガ

○領格ヲ形造ルトニ於テ附加ノスト云フ字ガ會テ廢サル、カ●第百一節 附加ノスト云フ字ハ既ニ於テ終ル所ノ其レ等ノ複數ニ於テ廢サル、即チ Horses' mouths' Horses' mouth、マンナシ、Doves' feathers Doves's feathers、マンナシ

○如何ナル他ノ場合ニ於テ附添ノスト云フ字ガ廢サル、カ●第百二節 其レハ又其レガ或ハ種々ノ音ヲ一緒ニ導キ而シテ簡穢ニシテニウト鳴ルトノ不快ナル種類ヲ起ス

デアロウキニ單數ニ於テ廢サル、即チ Moses's law' Moses's law'、マンナシ、Conscience's sake' Conscience's sake、マンナシ

○領格ニ向テノ規則ハ何デアアルカ●第百三節 規則……………領格ハ所領サレタル物ヲ顯ス所ノ名詞ニ由テ支配サル、「馬利ノ書物」「彼得ノ帽子」ノ如シ

○汝ハ領格ノ支配サル、トニ依テ何ヲ理會シ爲スカ●詞ガ其他或物ニ迄所有ノ其レノ關係ヲ顯ス爲メニ領格ニ於テアララ子ハナラヌトチ、彼得ノ帽子ト云フ句ニ於テ Peter ト云フ詞ガ彼ガ帽子ヲ所持スルトチ顯スベク領格ニ於テアララ子ハナラヌ第百四節 分解ニ於テ第三ノ進ミハ互ヒニ同シ文章ニ於テ詞ノ關係ヲ説明スベシアル

(是ガ領格ニ就テ以前ノ演習ニ於テ爲サレタ而シテ余輩ガ進ム丈ケ尙ホ遙カ爲サル、デアラウ)

目的格

○目的ト云フ詞ハ何ヲ意味シ爲スカ●第百五節 目的ト云フ詞ハ目的ニ關スルト云フトチ意味スル

○目的格ハ何ヲ顯ハシ爲スカ●第百六節 目的格ハ目的ヲ顯ス「神ガ世界ヲ造リシ」ノ如シ
 ○「閩龍ガ亞米利加ヲ發見セシ」ト云フ文章ニ於テ何レガ目的格デアルカ而シテ其レガ何ニ續
 キ爲スカ● America ガ目的格ニ於テアル如何トナレバ其レハ閩龍ガ發見セシ所ノ目的
 デアル故ニ而シテ其レガ discovered ナル移行働詞ニ次グ

○移行働詞ハ何デアルカ○(第三十節ヲ見ヨ)
 ○「閩龍ガ亞米利加ニ迄行キシ」ト云フ文章ニ於テ何レガ目的格デアリ而シテ其レガ何ニ次ギ
 爲スカ● America が其レニ迄閩龍ガ行キシ所ノ目的デ其レガアル故ニ目的格ニ於テアル
 而シテ其レガアル前置詞ニ次グ

○目的格ハ一般ニ言語ノ如何ナル部分ニ次ギ爲スカ●第百七節 目的格ハ一般ニ移行働詞
 或ハ夫故ニ其レヲ支配スルベシ云ハル、所ノ前置詞ニ次ク委シク云ヘハ彼等ガ彼等ノ後
 ニ其レヲ要スル

○汝ハ今目的格ニ向テ規則ヲ與ヘルデアラウカ●第百八節 規則………移行働詞ハ目的格
 ヲ支配スル「神ガ人ヲ愛スル」ノ如シ

此處ニ目的格ニ於テノ man が love、ナル移行働詞ニ由テ支配サル、
 第百九節 規則………前置詞ガ目的格ヲ支配スル「彼ガ佛蘭西ニ迄行キシ」ノ如シ
 此處ニ目的格ニ於テノ France が Toト云フ前置詞ニ由テ支配サル、

獨立格

○何時名詞ガ獨立格ニ於テアルベシ云ハル、カ●第百十節 名詞ハ其レガ語掛或ハ嘆聲ノ
 仕方ニ於テ用ヒラル、キニ獨立格ニ於テアル、譬バ「オー余ノ息子アブサロムヨ」彼レヨ
 何ヲ彼ガ非難ヲ受ルベシ爲シタカ「聽クベク耳ヲ持ツ所ノ彼レ彼ヲシテ聞カシメヨ」
 ○何故ニ此格ガ獨立格ト呼バル、カ●第百十一節 如何トナレバ此格ニ於テノ名詞ガ他ノ
 詞ト結合サレヌ然シナガラ彼等カラ獨立ニ用ヒラル、故ニ

名詞ノ屈曲

○汝ハ boy 及ビ knife ナル詞ノ種々ノ格及ビ數ヲ與ルデアロウカ

單數	複數	單數	複數
主格	〔男兒ガ〕	〔同上〕	〔小刀ガ〕
			〔同上〕

領格 (男兒ノ) (同上) (小刀ノ) (同上)

目的格 (男兒ヲ) (同上) (小刀ヲ) (同上)

獨立格 (男兒) (同上) (小刀) (同上)

○名詞ノ屈曲ニ依テ何が意味セラル、カ●第百十二節 名詞ノ屈曲ハ Boy 及 Knife ナル
詞ヲ以テ爲サレタ如ク其レノ種々ノ格及ビ數ヲ與ヘツ、アル

○ man 及ビ boy ナル詞ヲ屈ケヨ

單數	複數	單數	複數
主格 (人ガ)	(同上)	(蠅ガ)	(同上)
領格 (人ノ)	(同上)	(蠅ノ)	(同上)
目的格 (人ヲ)	(同上)	(蠅ヲ)	(同上)
獨立格 (人)	(同上)	(蠅)	(同上)

第二 代名詞

其レノ性質及ビ關係

○代名詞ナル詞ハ何ヲ意味シ爲ヌカ○(第十二節ヲ見ヨ)○代名詞ハ何デアアルカ○(第十三節ヲ見ヨ)

○其レニ向テ代名詞ガ用ヒラル、所ノ名詞ハ何デアアルカ●第百十三節 其レニ向テ代名詞ガ立ツ所ノ名詞ハ其レノ先行詞ト呼バル、

○何故ニ其レガ左様ニ呼バル、カ●第百十四節 如何トナレハ先行ナル詞ハ先キ行ク所ノ其レヲ意味シ而シテ其レニ向テ代名詞ガ立ツ所ノ名詞ガ一般ニ其レノ先キニ行ク故ニ、
「エームスガ彼ノ兩親ヲ愛スル」ノ如シ其處ニ「彼ノ」ガ代名詞デアアル而シテ「惹迷斯」ガ其レノ先行詞デアアル

○代名詞ハ如何ナル性質ヲ持ツカ●第百十五節 代名詞ガ名詞ニ代ル故ニ彼等ハ名詞ガ持ツ所ノ同シ性質ヲ持ツ

人稱 第一人稱、第二人稱、及ビ第三人稱

性 男性、女性、及ビ中性

數 單數及ビ複數

格 主格、領格、目的格、及ビ獨立格

○代名詞ノ如何ニ多クノ種類ガ其處ニアルカ ●第百十六節 代名詞ハ三ツノ種類ノモノデア
アル

- 第一 人代名詞
 - 第二 關係代名詞
 - 第三 疑問代名詞
- 人代名詞

○人代名詞ハ何デアアルカ ●第百十七節 人代名詞ハ其レニ於テ各異ノ人稱ガ各異ノ詞ニ由
テ顯ハサル、所ノ其レ等デアアル

○何レガ人代名詞デアアルカ ●第百十八節 人代名詞ハ第一人稱ニ向テ「第二人稱ニ向テ
You 或ハ Thou 及ビ第三人稱ニ向テ He, She, 及ビ It」デアアル。彼等ノ各異ノ數及ビ格
ヲ以テ

○何故ニ彼等ガ人代名詞ト呼バル、カ ●第百十九節 如何トナレハ彼等ガ各異ノ詞ニ依テ
各異ノ人稱ヲ顯ハス故ニ
「ハ話ス所ノ人ヲ表ハシツ、

You 或ハ Tho 話シカケラレタル人而、He, She, 及ビ It 風評サレタル人ヲ

○第一人稱ノ人代名詞ナルト云フ詞ヲ屈曲セヨ

第百二十節

單數

複數

- 主格 (余ガ) [余輩ガ]
- 領格 余ノ或ハ同上 [余輩ノ]或ハ同上
- 目的格 [余ヲ、余ニ] [余輩ヲ、余輩ニ]
- 獨立格 余ハ(余) [余輩]

○第二人稱ノ人代名詞ナル You 及ビ Thou ヲ屈曲セヨ

第百二十一節

單數

複數

- 主格 You You
- 領格 或ハ Yours Your 或ハ Yours

目的格	You	You
獨立格	You	You
主格	Thou	Ye
領格	Thy 或ハ Thine	Your 或ハ Yours
目的格	Thee	You
獨立格	Thou	You

註 Thou 及ヒ其レノ種々ノ格ガ嚴格ナル書法ニ於テ而シ「シニッカー」宗徒ニ由テ用ヒラル、

○何故ニ第一人稱及ヒ第二人稱ナル「I」及ヒ「You」ガ性ニ由テ一ノ變化ヲ持タヌカ●第百一十二節 如何トナレバ話ス所ノ人及ヒ話シカケラレタル人ハ現在シテアルベク假定メラレ而シテ勿論性ガ知ラル、故ニ

○第三人稱ノ人代名詞ナル He, She, 及ヒ It ヲ屈曲セヨ

第百二十三節

	單數	複數
男性	主格 [彼ガ]	中性或ハ通性 [其レガ]
	領格 [彼ノ]	中性或ハ通性 [彼等ガ]
	目的格 [彼ヲ、彼ニ]	中性或ハ通性 [其レノ]
	獨立格 [彼レ]	中性或ハ通性 [彼等ヲ、ニ]
女性		
	主格 [彼女ガ]	中性或ハ通性 [其レガ]
	領格 [彼女ノ]	中性或ハ通性 [彼等ノ]
	目的格 [彼女ヲ、彼女ニ]	中性或ハ通性 [其レヲ、其レニ]
	獨立格 [彼女]	中性或ハ通性 [彼等]

○代名詞ノ領格及ヒ目的格ガ如何ニ分解サル、カ●第百二十四節 名詞ノ其レ等ノ如ク同シ仕方ニ於テ

○如何ナル他ノ規則ガ代名詞ニ向テ其處ニアルカ●第百二十五節 規則……代名詞ハ人稱性及ヒ數ニ於テ彼等ノ先行詞ト一致セザバナラヌ

組立代名詞

○組立代名詞ハ何デアルカ●第百二十六節 self ナル詞或ハ selves ナル其レノ複數ガ人代名詞ニ迄附加ヘラル、其レガ組立人代名詞ト呼バル、如何トナレバ然ルキ其レカニ

ツノ詞カラ組立ラレ即チ組合サル、故ニ「余自身」「彼女自身」等ノ如シ

○何レカ組立人代名詞アルカ ● 第二百二十七節 彼等ガ「余自身」「余等自身」「汝自身」「汝自身」「汝等自身」「彼自身」「彼女自身」「其レ自身」「彼等自身」デアル

○關係代名詞ハ何デアルカ ● 第二百二十八節 關係代名詞ハ別々ノ文章チ結合スルベク如ク箇様ナル仕方ニ於テ其レノ先行詞ニ迄關係スル所ノ者デアル、「死セシ所ノ人ガ家族チ遺セシ」ノ如シ○此處ニ「人ガ死セシ」ガ「ツ」ノ文章デアル、「人ガ家族チ遺セシ」ガ他ノモノデアル、而シテ彼等ガ who (其レハ、所ノ) ト云フ關係代名詞ニ由テ接合サル、

注意 關係代名詞ノ先行詞ガ人代名詞デアリ得ル、「死セシ所ノ彼レ」ノ如シ

○何レカ關係代名詞アルカ ● 第二百二十九節 關係代名詞ハ who, which, that, 及ビ what 及ビ彼等ノ組成詞ナル whosoever, whichever, whatsoever, whatever, 或ハ whoever, whichever, whatever デアル

備考 As ト云フ詞ガ時トシ關係代名詞デアル、「私ガ愛スル所ノ斯様ナル物」ノ如シ who 及ビ which 及ビ whoever ト云フ詞チ屈曲セヨ

第三百十節

單數及ビ複數	單數及ビ複數	單數及ビ複數
主格	〔其人ハ、所ノ〕	〔其人ハ、所ノ〕
領格	〔其人ノ、所ノ〕	〔其人ノ、所ノ〕
目的格	〔其人ヲ、ニ、所ノ〕	〔其人ヲ、ニ、所ノ〕
獨立格	〔其人、所ノ〕	〔其人、所ノ〕

○如何ニ what ト云フ詞ガ用ヒラル、カ ● 第三百三十一節 what ハ先行詞及ビ關係代名詞ヲ含ミツ、組立關係代名詞ノ種類トシテ用ヒラル、「是ガ物其レチ或ハ私ガ要セシ所ノ物デアル」ノ如シ

○關係代名詞ノ何レガ人ニ向テ用ヒラル、カ ● 第三百三十二節 who 及ビ其レノ組立ナル whoever 等ガ人ニ向テ用ヒラル、「人其人ハ來リシ所ノ人」ノ如シ

○如何ニ which 及ビ that ガ用ヒラル、カ ● 第三百三十三節 which ハ畜生ニ向テ用ヒラル、「馬其レニ余ガ乘リシ所ノ馬」ノ如シ

生活ナキ物ニ向テ「樹木其レハ倒レシ所ノ樹木」ノ如シ及ビ小供ニ向テ「小供其レハ病氣デアリシ所ノ小供」ノ如シ

That ハ who 或ハ which ニ向テ用ヒラル、即チ

人其レハ來リシ所ノ人

馬其レニ余ガ騎リシ所ノ馬

樹木其レハ倒レシ所ノ樹木

小供其レハ病氣デアリシ所ノ小供

○ that ハ會テ言語ノ或他ノ部分デアルカ ● 第二百二十四節 What ハ時トシテ形容詞デアル、「其ノ人」「其ノ家」ノ如シ而シテ時トシテ接續詞ナリ、「余ハ汝ガ篤實デアルコトヲ知ル」ノ如シ

疑問代名詞

○ 何時 who, which, 及ビ what ガ疑問代名詞デアルカ ● 第二百二十五節 Who, which 及ビ what ハ彼等ガ疑問ヲ問フコトニ向テ用ヒラル、キニ疑問代名詞ト呼ハル、「誰レガ其處ニ在ルカ」「何レガ人デアルカ」ノ如シ

○ 何故ニ彼等ガ左様ニ呼ハル、カ ● 第二百三十六節 如何トナレバ interrogative ナル詞ハ疑問ヲ顯ハスコトヲ意味スル故ニ

註 其レノ代リニ疑問代名詞ガ立ッ所ノ名詞ガ答ニ於テ其レノ後トニ來ル ○ 次ノ演習ニ於テ第八、九、及ビ十ノ例ヲ見ヨ

第三 形容詞

其レノ性質及ビ關係

○ 何故ニ形容詞ガ變化サル、カ ● 第二百三十七節 最も多クノ形容詞ガ比較ノ階級ヲ云顯スルニシテ變化サル、

○ 階級ナル詞ハ何ヲ意味シ爲スカ ● 第二百三十八節 階級ナル詞ハ階級即チ間隔ヲ意味スル

○ 比較ノ如何ニ多クノ而シテ如何ナル階級ヲ形容詞ガ持チ爲スカ ● 第二百三十九節 三ツ、定級甘キノ如ク比較級、尙甘キノ如ク最上級、最も甘キノ如シ

○ positive ナル詞ハ何ヲ意味シ爲スカ ● 第二百四十節 positive ナル詞ハ「定リタル」、「儲カナル」ト云フコトヲ意味スル

○定級ハ何ヲ顯ハシ爲スカ●第百四十一節 定級ハ其他ノ或物ヨシテ別段ノ關係無シニ定リタル又ハ單純ナル性質ヲ顯ス、「甘キ林檎」「丈高キ人」ノ如シ

○比較級ハ何ヲ爲シナスカ●第百四十二節 比較級ハ定級ノ意味ヲ増加シ或ハ減少スル例ヘバ「尙甘キ林檎」「尙丈高キ人」「尙僅カ勉強ナル男兒」ノ如シ

○何故ニ其レガ比較級ト呼バル、カ●第百四十三節 如何トナレバ其レガ其他ノ或モノト直接ノ比較ヲ含ム故ニ、若シ林檎ガ尙甘シアルナラバ其レガ其他ノ或物ヨリモ尙甘クアラナラヌ

○最上級ナル詞ハ何ヲ意味シ爲スカ●第百四十四節 最上級ナル詞ハ總テニ超過スルト云フヲ意味スル

○最上級ハ何ヲ爲シナスカ●第百四十五節 最上級ハ最モ高キ又ハ最モ低キ階級ニ迄定級ヲ増加シ又ハ減少スル、「最モ甘キ林檎」「最モ丈高キ人」「最モ僅カ勉強ナル兒童」ノ如シ

○一綴ノ形容詞ガ如何ニ比較サル、カ●第百四十六節 一綴ノ形容詞ハ比較級ニ向テ又ハest而シテ最上級ニ向テst又ハestヲ定級ニ迄附加ヘルコトニ依テ比較サル、定級 sweet

比較級 sweeter 最上級 sweetest ノ如シ

○一綴ヨリモ尙多クノ形容詞ハ如何ニモテ比較サル、カ●第百四十七節 一綴ヨリ多クノ形容詞ハ比較級ニ向テ more ナル副詞而シテ最上級ニ向テ most ヲ定級ノ前ニ置クコトニ依テ一般ニ比較サル、定級「可愛ラシク」比較級「ヨリ多ク可愛ラシキ」最上級「最モ多ク可愛ラシキ」ノ如シ

○其處ニ形容詞ヲ比較スルコトノ或他ノ方法ガアルカ●第百四十八節 減少ヲ顯スベシ最モ多クノ形容詞ガ less 及ビ least ニ由テ比較サレ得ル、謙遜ナル、尙僅カ謙遜ナル、最僅カ謙遜ナル、ノ如シ

僅カ亦不規則ニ比較サル、次ノモノ、如シ

定級

比較級

最上級

〔善キ〕

〔尙善キ〕

〔最モ善キ〕

〔惡シキ〕

〔尙惡シキ〕

〔最モ惡シキ〕

〔惡シキ〕

〔尙惡シキ〕

〔最モ惡シキ〕

ヲ制限スル、「甘キ林檎」「彼ハ善シアル」ノ如シ

○何時形容詞が名詞ナシニ用ヒラル、カ如何ニ其レガ分解サレ得ルカ ●第百五十六節 其レガ名詞トシテ分解サレ得ル「悪人ハ滅スル」ノ如シ

○如何ナル他ノ仕方ニ於テ其レガ分解サレ得ルカ ●第百五十七節 其レガ理會サレタル名詞ヲ制定スルトシテ分解サレ得ル、「總テガ死ナネバナラヌ」ナル文章ニ於テ「E」ハ「總テノ人が死ナチバナラヌ」ト其レガ讀マル、カノ如ク理會サレタル ment ト云フ詞ヲ制定シ得ルガ如シ

○分解ニ於テ用ヒラレタル understood ナル詞ニ依テ何が意味セラル、カ ●第百五十八節 詞ガ意味ヲ變ズルコトナシニ補充サレ得ルキニ其レガ理會サル、ト云ハル、「總テガ死ナチバナラヌ」ナル文章ニ於テ (man) ト云フ詞ガ (E) ノ後ニ理會サル、而シテ補充サレ得ル如何トナレバ其レガ「總テノ人が死ナチバナラヌ」ト云フコト意味スル故ニ

第四 動詞

其レノ性質及ビ關係

○動詞が如何ナル性質ヲ持チ爲スカ ●第百五十九節 動詞ニ迄人稱、數法、及ビ時ガ屬スル人稱及ビ數

○人稱及ビ數が適當ニ動詞ニ屬シ爲スカ ●第百六十節 彼等ガ爲サヌ如何トナレバ余輩ハ動詞ガ話ス所或ハ話シカケラレタル人ヲ顯スコト亦其レガ「ツ又ハ「ツヨリモ尙多クテ意味スルコト云ヒ能ハヌ故ニ

○然ラバ何故ニ動詞ガ是等ノ性質ヲ持ツコト云ハル、カ ●第百六十一節 彼等ノ主格ト彼等ノ結合ヲ顯ス爲メニ動詞ハ彼等ガ持ツ所ノ同シ人稱及ビ數ヲ持ツコト云ハル、

○然ラバ動詞及ビ其レノ主格ニ向テノ規則ハ何デアルカ ●第百六十二節 規則 動詞ハ人稱及ビ數ニ於テ其レノ主格ト一致セチバナラヌ、「私が愛スル」「彼が愛スル」ノ如シ

時

○「tense」ナル詞ハ何チ意味シ爲スカ ●第百六十三節 「tense」ナル詞ハ時チ意味スル

○動詞ノ時ハ何チ顯ハシ爲スカ ●第百六十四節 動詞ノ時ハ其レニ於テ動作或ハ有ルコトノ有様ガ表ハサル、所ノ時チ顯ヌ、譬バ

余ガ學ブ(今)

余ガ學ビシ(昨日或ハ或過去タル時ニ於テ)

余ガ學ブデアロウ(明日或ハ或未來ノ時ニ於テ)

○時ノ重モナル分チハ幾多而シテ何デアルカ●第百六十五節 其處ニ時ノ三ツノ重モナル分チガアル現在、過去、及ビ未來ナリ

○此等ノ分チガ如何ナル時チ表ハスカ●第百六十六節 現在ハ現在ノ時チ顯ハシツ、過去ハ過ぎ去タル時チ顯ハシツ、而シテ未來ハ來ルベキ時チ顯ハシツ、

○汝ハ愛スベク及ビ(學ブベキ)ナル働詞ニ於テ時ノ三ツノ一般ノ分チチ表ハシツ、三ツノ重モナル時チ與ヘルデアロウカ

第百六十七節

現在 余ハ愛スル

現在 余ハ學ブ

過去 余ハ愛セシ

過去 余ハ學ビシ

未來 余ハ愛スルデアロウ

未來 余ハ學ブデアロウ

現在

○現在ハ何チ顯ハシ爲スカ●第百六十八節 現在ハ現在ノ時チ顯ス、「余ハ學ブ」「彼ハ書ク」ノ如シ

○汝ハ其レノ種々ノ人稱及ビ數ニ於テ「to love」ナル働詞ノ現在チ與ヘルデアロウカ

第百六十九節

單數

複數

第一人稱 余ハ愛スル

余輩ハ愛スル

第二人稱 汝等ハ愛スル或ハ汝ハ愛スル

汝等ハ愛スル

第三人稱 彼ハ彼女ハ或ハ其レハ愛スル又ハ愛スル

彼等ハ愛スル

過去

○過去ハ時ノ如何ナル部分チ包含シ爲スカ●第百七十節 彼等ハ總チ過ぎテアル所ノ時ノ其部分チ含ム

○幾多ノ過去ガ其處ニアリ得ルカ ●第百七十一節 其處ニ過ギタル時ノ各ノ瞬時ニ向テ過去ガアリ得ル、然シテナガラ便利ハ數ガ限ラル、デアロウヲ要スル

○其處ニ如何ニ多シノ過去ガアルカ ●第百七十二節 其處ニ三ツノ過去ガアル、第一ノ過去、第二ノ過去及ビ第三ノ過去ナリ

第一ノ過去

○第一ノ過去ハ何ヲ顯ハシ爲スカ ●第百七十三節 第一ノ過去ハ其レノ或格段ナル部分ニ迄關係ナシニ過ギタル時ヲ顯ス、「彼ガ學ビシ」(昨日或ハ前週或ハ多年前)ノ如シ或ハ其レガ過ギタル或ル時ニ於テ進ミ行クトシテ動作或ハ出來事ヲ表ハス、「彼ハ鐘ガ鳴リシトキニ學ビシ」アリシ」ノ如シ

○to love」ト云フ詞ノ第一ノ過去ヲ與ヘヨ

第百七十四節

單數

第一人稱 余ハ愛セシ

複數

余輩ハ愛セシ

第二人稱 汝ハ愛セシ或ハ汝ハ愛セシ

汝等ハ愛セシ

第三人稱 彼ハ彼女ハ或ハ其レヲ愛セシ

彼等ハ愛セシ

第二ノ過去

○第二ノ過去ハ何ヲ顯ハシ爲スカ ●第百七十五節 第二ノ過去ハ現在ノ時ニ於テ完全サレタル過去ヲ顯ス、「余ハ學ンダ」(即チ此瞬間ニ於テ學ブコトガ爲サル、「余ハ書マ」(此時ニ於テ書クコトガ完全サル)ノ如シ

○to love」ト云フ詞ノ第二過去ヲ與ヘヨ

第百七十六節

單數

第一人稱 余ハ愛シタ

複數

余輩ハ愛シタ

第二人稱 汝ハ愛シタ或ハ汝ハ愛シタ

汝等ハ愛シタ

第三人稱 彼ハ彼女ハ或ハ其レハ愛シタ

彼等ハ愛シタ

第三ノ過去

○第三ノ過去ハ何ヲ顯ハシ爲スカ●第百七十七節 第三ノ過去ハ關係サレタル或ル他ノ過去ニ先立ツ過去ヲ顯ス譬ハ余ハ學ンダリシ(余ガ促サレシ前ニ)余ハ書タリキ(余ガ汝ヲ見シ前ニ)ノ如シ

○to love ト云フ詞ノ第三ノ過去ヲ與ヘヨ

第百七十八節

單數

第一人稱 余ハ愛シタリシ

第二人稱 汝ハ愛シタリシ或ハ汝ハ愛シタリシ

第三人稱 彼ハ彼女ハ或ハ其レハ愛シタリシ

複數

余輩ハ愛シタリシ

汝等ハ愛シタリシ

彼等ハ愛シタリシ

未來

○未來ノ時ハ如何ナル部分ヲ包含シ爲スカ●第百七十九節 彼等ハ總テ來ルベシアル所ノ其部分ヲ含ム

○其處ニ如何ニ多シノ未來ガアリ得ルカ●第百八十節 其處ニ各ノ未來ノ瞬時ニ向テ一ツガアリ得ル

○如何ニ多シノ未來ガ其處ニアルカ而シテ何等ガ何ト呼バル、カ●第百八十一節 其處ニ第一未來及ビ第二未來ト呼バレタルニツノ未來ガアル

第一未來

○第一未來ガ何ヲ顯ハシ爲スカ●第百八十二節 第一未來ハ其レノ或格段ナル部分ニ迄關係ナシニ來ルベキ時ヲ顯ス、「余ハ學ブデアロウ」彼ハ書クデアロウ」ノ如シ

○to love ト云フ詞ノ第一未來ヲ與ヘヨ

第百八十三節

單數

第一人稱 余ハ愛スルデアロウ

第二人稱 汝ハ愛スルデアロウ或ハ汝ハ愛スルデアロウ

第三人稱 彼ハ彼女ハ或ハ其レハ愛スルデアロウ

複數

第一人稱 余輩ハ愛スルデアロウ

第二人稱 汝等ハ愛スルデアロウ

第三人稱 彼等ハ愛スルデアロウ

第二未來

○第二未來ハ何チ顯ハシ爲スカ●第百八十四節 第二未來ハ或他ノ未來ノ前ニアル所ノ未

來チ顯ス、「余ハ私ノ日課ヲ學ンダデアロウ」(彼ガ到着スルデアロウ前或ハ時ニ)ノ如シ

○to love ト云フ詞ノ第二未來チ與ヘヨ

第百八十五節

單數

第一人稱 余ハ愛シタデアロウ

第二人稱 汝ハ愛シタデアロウ或ハ汝ハ愛シタデアロウ

第三人稱 彼ハ彼女ハ或ハ其レハ愛シタデアロウ

複數

第一人稱 余輩ハ愛シタデアロウ

第二人稱 汝等ハ愛シタデアロウ

第三人稱 彼等ハ愛シタデアロウ

法

○法ナル詞ハ何チ意味シ爲スカ●第百八十六節 法ナル詞ハ方法チ意味スル、「余ハ職務チ爲ス」ノ彼ノ法チ好ム」或ハ「余ハ生活スル」ノ彼ノ法チ好ム」ト余ガ言フキニ「余ハ職務チ爲ス」ノ彼ノ仕方チ好ム」又ハ「余ハ生活スル」ノ彼ノ仕方チ好ム」ト云フ」チ余ガ意味スルガ如シ

○然ラハ我等ハ動詞ノ法ニ於テ何チ理會スルデアルウカ●第百八十七節 動詞ノ法ハ其レニ於テ動作或ハ有ル」ノ有機ガ表ハサル、所ノ仕方チ顯ス、「彼ガ愛スル」ト余輩ガ云フキニ余輩ハ直接ノ仕方ニ付テ愛スル」ニ付テ話ス、而シテ余輩ガ「若シ彼ガ話スルナラハ」ト云フキニ余輩ハ疑ハシキ仕方ニ於テ其レニ付テ話スガ如シ

○幾多而シテ如何ナル法チ動詞ガ持チ爲スカ●第百八十八節 動詞ハ六ツノ法チ持ツ、直説

法、可能法、附屬法、命令法、不定法、及ビ分詞法ナリ

直説法

○「余ガ學ブ」余ハ學ブデアロウ「ナル文章ニ於テ如何ナル仕方ニ於テ學ブ」ノ行為ガ表ハサル、カ●第百八十九節 直接ノ仕方ニ於テ單ニ余ガ學ブ或ハ學ブデアロウト云フノ事實ヲ示シ乃チ説示シツ、

○直説ナル詞ハ何チ意味シ爲スカ●第百九十節 直説ナル詞ハ示ス、指示ス、表示スルト云フヲ意味スル

○何ニ向テ直説法ハ用ヒラル、カ●第百九十一節 直説法ハ説示スルヲ又ハ表示スルヲニ向テ用ヒラル、「汝ハ愛スル」「余ハ行クデアロウ」ノ如シ而シテ疑問ヲ問フニ向テ「汝ハ愛シ爲スカ」「余ハ行クデアロウカ」ノ如シ

○此法ノ重モナル意趣ハ何デアアルカ●第百九十二節 其レハ説示スルヲノ其レデアアル

可能法

○「余ハ學ビ能フ」ナル文章ニ於テ如何ナル仕方ニ於テ學ブ」ノ動作ガ表ハサル、カ●其レハ出來ベシアル」トシテ表ハサル、即チ余ガ學ブベシ適當デアアル

○可能ナル詞ハ何チ意味シ爲スカ●第百九十三節 其レハ適當シタル乃チ勢力ヲ持ツ」トシテ意味スル

○可能法ハ何チ顯ハシ爲スカ●第百九十四節 可能法ハ勢力、出來ベキ、自由、責任、義務、必要、傾向、決定ヲ顯ス、「余ハ學ビ能フ」「余ハ學ハネハナラヌ」「余ハ學ビ能ヒシ」等ノ如シ○其レハ亦疑問ヲ問フニ向テ用ヒラレ得ル、「余ハ學ビ得ルカ」ノ如シ

○此法ノ重モナル意趣ハ何デアアルカ●第百九十五節 勢力又ハ適當ノ其レデアアル

附屬法

○若シ「彼ガ學ブ」ナラバ彼ハ覺ヘルデアロウ「ナル文章ニ於テ如何ナル仕方ニ於テ學ブ」ノ動作ガ表ハサル、カ●其レハ疑ハシキ仕方ニ於テ表ハサル、其レハ彼ガ學ブカ又ハ學ハスカ何方カ不慥カデアリツ、

○與ヘラレタル文章ニ於テ如何ナル他ノ働詞ニ迄 study ト云フ詞ガ附加ヘラレ乃チ附屬サル、カ● study ト云フ詞ハ learn ナル働詞ニ迄附屬サル、而シテ其レニ從屬シテアル

○附属ナル詞ハ何チ意味シ爲スカ●第九十六節 附属ナル詞ハ附添ヘラル、ト云フヲチ意味スル

○附属法ハ何チ顯ハシ爲スカ●第九十七節 附属法ハ疑ヒ又ハ約束チ顯ス而シテ他ノ働詞ニ迄附添タル、「余ハ若シ汝ガ余ニ請求スルナラバ行クデアロウ」ノ如シ

○如何ニシテ直説法及ビ可能法ノ形チカ附属法ノ形ニナリ得ルカ●第九十八節 不定法ハ約束チ顯ス所ノ接續詞チ彼等ノ前ニ置クトニ依テ、譬バ「though' unless' except' lest'」等ノ如シ、「若シ余ガ學ブナラバ」「若シ余ガ學ブデアロウナラバ」等ノ如シ

命令法

○「汝ノ日課業チ學ベ」ナル文章ニ於テ如何ナル仕方ニ於テ study ナル働詞ガ用ヒラル、カ●其レハ命令チ傳ヘルベク用ヒラル、

○命令ナル詞ハ何チ意味シ爲スカ●第九十九節 命令ナル詞ハ命令スルト云フヲチ意味スル

○命令法ハ何ニ向テ用ヒラル、カ●第二百節 命令法ハ命令スルヲ、諫戒スルヲ、懇願スルヲ、及ビ許可スルヲニ向テ用ヒラル、「余ニ迄來レ」「惡カラ反レ」「余チ見捨ルナ」「平和ニ於テ行ケ」ノ如シ

○其レノ名ニ依テ指示サレタル此働詞ニ依テ言出サレタル重モナル意趣ハ何デアルカ●第二百一節 命令ノ其レナリ

不定法

○「彼ハ學ブベシ愛スル」ナル文章ニ於テ如何ナル仕方ニ於テ學ブノ動作ガ表ハサル、カ●其レハ或ル主格ナシニ而シテ夫故ニ人稱或ハ數ノ或ル限制ナシニ一般ノ仕方ニ於テ表ハサル、

○不定ナル詞ハ何チ意味シ爲スカ●第二百二節 不定ナル詞ハ定限無キト云フヲチ意味スル

○何ニ向テ不定法ガ用ヒラル、カ●第二百三節 不定法ハ一般ノ而シテ限リナキ仕方ニ於テ動作或ハ有ルノ有様チ言出スベク用ヒラル、「生活スル」「學ブ」「勤學スル」ノ如シ○其レハ決シテ主格チ持タズ

○言語ノ如何ナル他ノ部分ヲ不定法ガ一般ニ繼ギ爲スカ●第二百四節 不定法ハ一般ニ動詞名詞或ハ形容詞ヲ繼グ而シテ夫故ニ彼等ニ依テ支配サレルベク云ハル、
「彼ハ遊ベク愛スル」「余ハ行クベク急速ニ於テアル」「彼女ハ學ブベク遅クアル」ノ如シ

○然ラバ不定法ニ向テノ規則ハ何デアルカ●第二百五節 規則……不定法ハ一般ニ動詞名詞、或ハ形容詞ニ依テ支配サル、
「彼ハ學ブベク勤メル」「彼ハ行クベク急速ニ於テアル」「余ハ死スルベク近クアル」ノ如シ

分詞法又ハ分詞

○「童子ガ學ビツ、アル」ナル文章ニ於テ如何ナル仕方ニ於テ studying ナル詞ガ用ヒラル、カ●其レハ其レガ動作ヲ言顯ス故ニ動詞トシテ而シテ亦 boy ナル名詞ヲ制限スル所ノ形容詞トシテ用ヒラル、

○分詞ナル詞ハ何チ意味シ爲スカ●第二百六節 分詞ナル詞ハ分取スルト云フコト意味スル

○然ラバ分詞又ハ分詞法ハ何デアルカ●第二百七節 分詞又ハ分詞法ハ動詞并ニ形容詞ノ性質ヲ共ニスル所ノ動詞ノ其ノ形チデアル、「鳥ガ飛去リツ、消失セシ」「家ガ破壊サレツ、全キ損亡デアリシ」ノ如シ

○如何ニ分詞ガ分解サル、カ●第二百八節 其レハ名詞其レニ迄其レガ係ハル所ノ名詞ヲ制限スルコトシテ形容詞ノ如ク分解サル、○「鳥ガ飛ビツ、消失セル」ナル文章ニ於テ flying ナル分詞ガ birds ヲ制定スル

原動及ヒ被動聲

○動詞ノ原動聲ニ於テ意味セラル、カ●第二百九節 原動聲ハ動詞ノ其形チ其レニ於テ主格ガ働者ヲ顯ス所ノ其形チデアル「ジョンガゲームスヲ打チシ」ノ如シ其處ニ struck 原動聲デアアル

○被動聲ニ由テ意味セラル、カ●第二百十節 被動聲ハ其レニ於テ主格ガ受者即チ動作ノ受者ヲ表ハス所ノ其形チデアル、「ゲームスガジョンニ依テ打タレシ」ノ如シ其處ニ「打タレシ」ガ被動聲ニ於テアル

○此形チガ何故ニ被動聲ト呼バル、カ●第二百十一節 如何トナレハ passive ナル詞ハ受

ル¹チ意味シ而シテ此聲法ヤ次ノ例ニ於テノ如ク働キニ就テ受ケル¹乃チ受ケル¹チ顯
ス故ニ

〔原働聲〕「愛スルベク」―「呼ブベク」―「殺スベク」―「シヨンガ愛スル」―「アーンガ呼
ビシ」

〔被働聲〕「愛セラルベク」―「呼バルベク」―「殺サルベク」―「シヨンガ愛セラル、」―
「アーンガ呼バレシ」

○働詞ノ如何ナル階級ニ迄原働及ビ被働聲ノ區別ガ適當シ爲スカ●第二百十二節 二個或
ハ三個ノ取除チ以テ唯ク移行働詞ノミマデ

規則及ビ不規則働詞

○何時働詞ガ規則デアルベク云ハル、カ●第二百十三節 其レガ現在ニ迄²又ハ²peチ附
加ヘル¹ニ由テ其レノ第一過去直說法及ビ其レノ第一過去分詞チ形造ルキニ次ノ如シ

現在

第一過去直說法

第一過去分詞

〔愛スル〕

〔愛セシ〕

〔愛シタル〕

〔學ブ〕

〔學ビシ〕

〔學ビタル〕

〔話ヌ〕

〔話セシ〕

〔話シタル〕

〔殺ヌ〕

〔殺セシ〕

〔殺シタル〕

○何時働詞ガ不規則デアルベク云ハル、カ●第二百十四節 其レガ²或ハ²peチ附加ヘル
¹ニ由テ其レノ第一過去直說法及ビ其レノ第一過去分詞チ形造リ爲サヌキニ、次ノ詞
於テノ如シ

現在

第一過去直說法

第一過去分詞

〔有ル〕

〔有リシ〕

〔有リタル〕

〔見ル〕

〔見シ〕

〔見タル〕

〔教ル〕

〔教ヘシ〕

〔教ヘタル〕

〔行ク〕

〔行キシ〕

〔行キタル〕

助働詞

○助働詞ナル詞ハ何チ意味シ爲スカ●第二百五節 助働詞ナル詞ハ助ケルト云フ¹チ意

味スル

○助働詞ハ何デアアルカ ●第二百十六節 助働詞ハ其レノ助ケニ依テ種々ノ法及ビ時ガ形造ラル、所ノ其レ等デアアル

○彼等ハ何レデアアルカ ●第二百十七節 彼等ハ has, had, should, 等ナル彼等ノ變化ト共ニ have, shall, will, may, can, do 及ビ be 及ビ一ノ變化ヲ持タヌ所ノ must ナル

働詞ノ連合

○連結ナル詞ハ何チ意味シ爲スカ ●第二百十八節 連結ナル詞ハ連合スルト云フコチ意味スル

○働詞ノ連合ニ依テ何が意味セラル、カ ●第二百十九節 其レハ一ツノ結合サレタル目的ニ於テ法、時、數、及ビ人稱ノ如キ其レノ種々ノ部分ヲ連合スルコデアアル

○働詞ヲ連合スルコノ如何ナル簡短ナル法ガ分解ニ於テ用ヒラル、カ ●第二百二十節 其レノ重モナル部分ヲ與ヘルコ(愛スル)(愛セシ)(愛シタル)(行ク)(行キシ)(行キタル)ノ如シ

TO BE ナル不規則働詞ノ連合

○汝ハ to be ナル不規則働詞ヲ連合スルデアロウカ

第二百二十一節

[現在] am [第一過去直說法] Was [第一過去分詞] Been 直說法

直說法

現在

單數

複數

之ヲ略ス

第一過去

單數

複數

之ヲ略ス

第二過去

單數

複數

之ヲ略ス

第三過去

單數

複數

之ヲ略ス

第一未來

單數

複數

之ヲ略ス

第二未來

單數

複數

之ヲ略ス

可能法

現在又ハ未來

單數

複數

之ヲ略ス

○ can が用ヒラル、總テノ時ニ於テ may 或ハ must が亦用ヒラル、
又 shall 或ハ should が決定ノ意味ニ於テ用ヒラル、
其レガ未來可能法ニ於テ働詞ヲ置ン₁ヲ注意セヨ即チ

之ヲ略ス

第一過去

單數

複數

之ヲ略ス

could が用ヒラル、總テノ時ニ於テ might, should 及ヒ would が亦用ヒラル、
₁ヲ注意セヨ

第二過去

單數

複數

之ヲ略ス

第三過去

單數

複數

之ヲ略ス

附屬法

直說法及ビ可能法ノ總テノ時ハ疑ヒ或ハ約束ヲ顯ス所ノ接續詞ヲ彼等ノ前ニ置クニ由
テ附屬法ノ時トナル、譬ハ

若シ余ガアルナラバ、若シ余ガアリシナラバ、若シ余ガアツタナラバ、若シ余ガアツタリキ
ナラバ、若シ余ガアルデアロウナラバ、若シ余ガアツタデアロウナラバ、若シ余ガアリ得ル
ナラバ、若シ余ガアリ能フナラバ、若シ余ガアルデアロウナラバ、等

然レモ未來ニ於テ *esse* 或ハ *esse* ナル助働詞ガ屢々廢サル、箇様ニ「若シ余ガアルデア
ロウナラバ」ニ向テ「若シ余ガアルナラバ」或ハ「若シ汝ガアルデアロウナラバ」ニ向テ「若
シ汝ガアルナラバ」次ノ如シ

未來

單數

複數

之ヲ零ス

假定ヲ顯スベシ其處ニ亦次ノ如ク假定ノ時ガアル

假定时

單數

之ヲ略ス

單數

之ヲ略ス

命令法

單數

複數

Be, or be you, or be thou

Be, or be you, or be ye

不定法

現在 *To Be.*

過去 *To have been*

分詞法或ハ分詞

現在

Being.

第一過去

Been

第二過去

Having been

TO LOVE ナル規則動詞、連合

第二百二十二節

原働聲

〔現在〕 Love 〔第一過去直說法〕 Loved 〔第一過去分詞〕 Loved

直說法

現在

單數

複數

第一過去

單數

複數

第二過去

單數

複數

第三過去

單數

複數

第一未來

單數

複數

第二未來

單數

複數

可能法

現在或ハ未來

單數

複數

will 及 shall が決定ヲ顯スルニ彼等ハ此法ノ未來ヲ形作ル即チ

之ヲ畧ス

第一過去

單數

複數

第二過去

單數

複數

第三過去

單數

複數

附屬法

此法ノ時ハ疑ヒ或ハ約束ヲ顯ハス所ノ接續詞ガ彼等ノ前ニ置カル、ノ外直說法及ビ可能法ノ其レ等ノ通り同シモノデアル、*est* 等左ノ如シ

現在 「若シ余ガ愛スルナラバ」或ハ「若シ余ガ愛シ能フナラバ」

第一過去 「若シ余ガ愛セシナラバ」或ハ「若シ余ガ愛シ能ヒシナラバ」

未來ノ助働詞ガ時トシテ應セラル、左ノ如シ 之ヲ略ス

命令法 之ヲ略ス

不定法 之ヲ略ス

分詞法又ハ分詞 之ヲ略ス

〔備考一〕*Do* 及ビ *dic* カ時トシテ直說法ノ現在及ビ第一過去ニ於テ用ヒラル、

〔備考二〕疑問ガ問ハル、キニ詞ノ順序ガ變ゼラル、

〔備考三〕*to* *be* ナル働詞ガ時トシテ其レノ時ヲ形造ルベシ働詞ノ現在分詞ト共ニ用ヒラル、左ノ如シ

○何故ニ其レガ唯第二人稱ヲ持ツカ ●第二百二十三節 如何トナレバ命令、諫戒、等ガ或ル者ニ迄話シカケラレテハナラヌ故ニ

○汝ハ今被働聲ニ於テ *to love* ヲ連合スルマロツカ

第二百二十四節

TO BE LOVED

註 生徒ヲシテ(第一過去分詞ノ外) *to be* ナル働詞ノ各々ノ時數、及人稱ニマデ「愛セシ」ナル分詞ヲ附添セシメヨ而シテ彼カ次ノ如シ *to love* ノ原働詞ヲ持ツデアラン

直說法

現在

單數

複數

第一過去

單數

複數

第二過去

單數

複數

第三過去

單數

複數

第一未來

單數

複數

第二未來

單數

複數

可能法

現在或未來

單數

複數

may が用ヒラル、トコロノ其處ニ may 或ハ must が適當ナル、トヲ注意セヨ又 shall 及ヒ will が決定ノ意味ニ於テ用ヒラル、トキハ彼等ハ可能法及ヒ未來ニ於テ動詞ヲ置

シ、トヲ注意セヨ

第一過去

單數

複數

第二過去

單數

複數

第三過去

單數

複數

附屬法

此法ノ時ハ疑ヒ又ハ約束ヲ顯ス所ノ接續詞ガ彼等ノ前ニ置カル、ノ外直說法及ヒ可能法ノ其レ等ノ如ク同ジモノデアル

shall 又ハ will ナル助働詞ガ時トシテ未來ニ於テ廢セラレ、トヲ注意セヨ

假定メガ假定ノ時ニ依テ被働聲ニ於テ顯ハサル、

單數

複數

命令法

單數

複數

不定法

現在

過去

分詞法又ハ分詞

現在

第一過去

第二過去

第二百二十五節 不規則動詞ノ表

トト記サレタル其レ等ハ亦規則〔動詞〕デアアル〔表ハ零ス〕

○欠乏動詞ハ何デアアルカ●第二百二十六節 欠乏動詞ハ總テノ法及ビ時ニ於テ用ヒラレヌ

所ノ其レ等デアアル○欠乏動詞ハ can; could; may; might; shall; should; will; would; ought; must; quoth, 及ユ beware デアル」

○一人動詞ハ何デアアルカ●第二百二十七節 一人動詞(時トシテ不入)〔動詞〕ト呼ハルノハ

主格ニ向テゴナル代名詞ト共ニ第三八稱ニ於テノミ用ヒラル、所ノ其レ等デアアル、「其レハ適當スル」「其レハ見ユル」「其レハ霰降ル」「其レハ雨降ル」等ノ如シ

○組立動詞ハ何デアアルカ●第二百二十八節 組立動詞ハ前置詞或ハ副詞ト共ニ動詞ノ結合

ニ依テ形造ラル、「彼ハ彼ノ上着ヲ脱ギシ」○「趣意が見透サレシ」○「彼ハ天運ニ由テ笑ハレシ」ノ如シ

第五 副詞

其レノ性質及ビ關係

○副詞ガ比較サル、カ●第二百二十九節 副詞ハ形容詞ノ如ク比較サル、(速カニ)(尙速カニ)(最速カニ)(賢ク)(尙多ク賢ク)(最モ多ク賢ク)(善ク)(尙善ク)(最モ善ク)ノ如シ○多クハ全ク比較サレヌ、(此處ニ)(其處ニ)(今)(然ルキ)等ノ如シ
規則 副詞ハ動詞、形容詞、及ビ他ノ副詞ヲ制定スル「彼ハ賢ク働ク」「彼ハ甚タ賢クアル」「彼ハ甚タ賢ク働ク」ノ如シ

第六 同詞

言語ノ各ノ部分トシテ用ヒラレタル

第二百三十節 同シ詞ガ其レノ意味ヨマデ從テ時トシテ言語ノ一部分而シテ他ノモノデアル〇次ノモノガ此階級ノ例デアル

AFTER ハ第一、副詞デアル、「余ガ歸ル後」ノ如ク第二、前置詞デアル「彼ハ余ノ後ニ來ルデアロウ」ノ如シ

AS ハ第一、副詞デアル「彼女ハ彼女ノ兄弟ヲ其レメテ丈高シアル」ノ如ク第二、接續詞デアル、「其レガ定メラル、故ニ余輩ハ行クデアロウ」ノ如ク第三、關係代名詞デアル、「陪還ス所ノ箇様ナルモノ」ノ如シ

BUT ハ第一、接續詞デアル、「私ハ行クデアロウ然シナガラ汝ハ止マラテハナラヌ」ノ如ク第二、前置詞デアル、「總テガ榮譽ノ外失ナハレシ」ノ如ク第三、副詞デアル、「生命ハ唯々蒸氣デアル」ノ如シ

FOR ハ第一、前置詞デアル、「彼ハ彼ノ國ノ爲メニ死セシ」ノ如ク第二、接續詞デアル「余ハ行クデアロウ如何トナレバ彼ガ余ヲ呼ブ故ニ」ノ如シ

MUCH ハ第一、名詞デアル、「多クガ與ヘラル、」ノ如ク第二、形容詞デアル、「彼ハ多クノ錢ヲ持ツカ」ノ如ク第三、副詞デアル、「彼ハ多ク哀シメラレシ」ノ如シ

SINCE ハ第一、接續詞デアル、「汝ガ其レヲ好ムカラニ余ハ行クデアロウ」ノ如ク第二、前置詞デアル、「彼ハ其時以後見ラレタ」ノ如ク第三、副詞デアル、「彼ハ久シキ以前死セシ」ノ如シ

THAT ハ第一、形容詞デアル、「其人ハ余ノ兄弟デアル」ノ如ク第二、關係代名詞デアル、「聞ンベシ耳ヲ持ツ所ノ彼レ」ノ如ク第三、接續詞デアル、「私ハ汝ガ好シアルヲ望ム」ノ如シ

NOTWITHSTANDING ハ縱令ヒ分詞トシテ雖モ時トシテ前置詞トシテ用ヒラル。「彼ノ罪ニモ拘ハラス彼ハ遁レシ」ノ如シ、而シテ時トシテ接續詞トシテ「用ヒラル、」「彼ハ其レヲ好ムト雖トモ余ハ嫌ヲハヌハナラヌ」ノ如シ

〇第三編

詞ノ關係及ヒ文章ノ組成

互ヒニマデ詞ノ關係及ビ文章ノ組成チ支配スル所ノ主意ガ此處ニ添加充分ナル説明及
ビ許多ノ習例ヲ以テ再説セラル、

○文章ハ何デアルカ(第五十三節ヲ見ヨ)

○單文章ハ何デアルカ●第二百三十一節 單文章ハ唯一ツノ主格及ビ働詞其レニ迄其レガ
主格デアル所ノ働詞及ビ是等ト直チニ結合セラレ得ル所ノ總テノモノヲ保ツ、譬ヘバ「太
陽ガ輝ク」其ル所ノ太陽ガ勝レタル光輝ヲ以テ耀ク」ノ如シ

○組立文章ハ何デアルカ●第二百三十二節 組立文章ハ二ツ或ハ尙多クノ單文章カラ組立
ラル、
「太陽ガ輝ク而シテ樹木ガ動搖スル」
「余輩ノ上ニ輝ク所ノ太陽ハ神ノ造物デアル」
ノ如シ

○句ハ何デアルカ●第二百三十三節 句ハ短キ言顯デアル、(大概)ノ如シ

規則

詞ノ關係及ビ文章ノ組成ニ向テ

第一 名詞

○ apposition ナル詞ハ何チ意味シ爲スカ●第二百三十四節 apposition ナル詞ハ附加ヘチ
意味スル

第一規則ヲ繰返セ

第一規則其レヲ説明スベク他ノ名詞或ハ代名詞ニ迄附加ヘラレタル名詞或ハ代名詞ハ附
添ヘニ依テ其レト同格ニ於テアル、譬ハ

詩人ナルコーペルハ英倫ニ於テ住ヒシ

詩人ナルコーペルノ住所ハ英倫ニ於テアリシ

詩人タルコーペルノ名譽ハ一般デアル

○第一ノ例ニ於テ如何ナル詞ガ附添ニ於テアルカ●主格ニ於テノ(詩人)ガ Cowper ト附添
ニ於テアル

○第二ノ例ニ於テ何カ●目的格ニ於テノ詩人ガ Cowper ト附添ニ於テアル

○第三ノ例ニ於テ何カ●領格ニ於テノ詩人ガ Cowper ト附添ニ於テアル

註 附添ニ於テ領格ノ記號ニ關スル所ノ備考ニ向テ第二規則備考三ヲ見ヨ

○汝ハ領格ニ向テノ規則ヲ與ヘルデアロウカ●第二規則 領格ハ所持サレタル物ヲ顯ス名詞ニ由テ支配サル、「馬利ノ書物」「彼得ノ帽子」「彼ノ家」ノ如シ

○支配スル詞ガ會テ理會サル、カ●備考一 支配スル詞ガ時トシテ理會サル、「余ハマーティン君ノ(鋪、又ハ役所)ニ迄行キシ」「余ノ望ミハ彼レノ(彼レノ望ミ)ヨリモ尙大キクアル」

○如何ナル詞ノ後ニ支配スル所ノ詞ガ常ニ廢セラル、カ●備考二 *his, ours, yours, 及 theirs*ノ後ニ支配スル詞ガイツデモ廢セラル、「彼等ノ勞働ハ我等ノ(我等ノ勞働)ヨリモ尙大キクアル」「我等ノ報賞ハ(彼等ノ報賞)ヨリモ尙好クアル」

畧字標ガ決シテ代名詞ト共ニ用ヒラレヌヲ注意セヨ
領格ノ記標ハ何デアアルカ○(第百節ヲ見ヨ)

○何時略字標ガ廢セラル、カ●備考三 「第一」領格ニ於テノ名詞ガ他ノ名詞ト附添ニ於テアルキニ畧字標ガ時トシテ以前ノモノニ於テ而シテ終リノ名詞ニ於テ廢セラル、「使僧ナルポールノ書翰」「詩人タルコーペルノ卓越」

〔第二〕ニツ又ハ尙多クノ名詞ガ一致シテ所持サレタル物ニ迄關ハルキニ畧字標ガ第一ノモノニ於テ廢サル、譬バ「ダビッド及ビシヨナタンノ交誼」

然レシナガラ彼等ガ所持サレタル物ニ迄別々ニ拘ハルキニ記標ガ兩方ニ於テ用ヒラレテハナラヌ、「シエームスノ及ビシヨーシノ帽子ガ失ナハレシ」

避ケラル可キ錯誤

○如何ナル錯誤カ領格ノ用ヒニ於テ避ケラルベシアルカ●錯誤一 其レガ適當デアラヌ所ニ畧字標ノ用ヒテ避ケヨ、譬バ

hers, its, ours, theirs 等ニ向テ *hers, its, ours, theirs* 等○ *David and Jonathan's, friendship* ニ向テ *David's and Jonathan's friendship* ○(備考二)

錯誤二 其レガ適當デアアル所ニ略字標ノ廢除ヲ避ケヨ、譬バ

James's and George's books ニ向テ *James and George's books* ○(備考三)

○汝ハ目的格ヲ以タル移行働詞ニ向テ規則ヲ繰返ヌデアロウカ

第三規則 原働聲ニ於テノ移行働詞ハ目的格ヲ支配スル、「シエームスハ經典ヲ讀ム」「ア

「ソノ書物ヲ買ヒシ」ノ如シ

○移行働詞ハ會テ一ツノ目的格ヨリモ尙多シチ支配シ爲ヌカ

備考一 name, choose, call, make, elect, appoint, declare 等ノ如キ或ル移行働詞ハ二ツノ目的格チ支配シ得ル、「彼等ハ彼レヲシヨント名ツケシ」「彼等ハワシントソチ大統領ニ撰ビシ」ノ如シ

○被働聲ニ於テノ働詞ガ會テ目的格チ支配シ爲ヌカ

備考二 被働聲ニ於テノ働詞ガ時トソ目的格チ支配スル、「余ハ文法書チ教ヘラレシ」「彼ハ許シチ拒マレシ」ノ如シ

○不移行働詞ガ會テ目的格チ支配シ爲ヌカ

備考三 不移行働詞ガ其レ自身ノ(意味)ニ迄等シキ意味チ持ツ名詞ノ目的格チ支配シ得ル、「彼ハ彼ノ最後ノ眠チ眠ル」「余ハ夢チ夢ミシ」ノ如シ

○名詞又ハ代名詞ノ外ノ或ル物が移行働詞ノ後ニ目的格トシテ用ヒラレ能フカ

備考四 不定法、句、或ハ文章ガ移行働詞ノ後ニ目的格ニ於テノ名詞トシテ用ヒラレ得ル

「彼ハ遊ブチ愛スル」「彼ハ如何ニ錢チ作ルベキカチ知ル」ノ如シ

此處ニ to play 及ヒ how to make money ガ目的格ニ於テノ名詞トシテ考ヘラレ而シ

以前ノモノハ loves ニ由テ而シ終リノモノハ knows ニ由テ支配サル、

避ケラルベキ錯誤

○移行働詞及ビ目的格ニ就テ避ケラルベキ重モナル錯誤ハ何デアルカ

錯誤 目的格ニ向テ主格ノ使用チ避ケヨ、「誰チ彼ガ呼ビ爲セシカ」ニ向テ「誰ガ彼ハ呼ビ爲セシカ」ノ如シ

次ノ文章ニ於テノ錯誤チ正セ

(一) 誰ガ汝ハ要シ爲ヌカ

(二) 彼カ及ビ彼等ガ我等ハ見ヲ

(三) 汝ガ作リシ所ノ彼レチ信ゼヨ

(四) 我等チ保護スル所ノ彼ガ我等ハ愛スルデアロウ

(五) 猜ンデアアル所ノ彼等ガ我等ハ避ケルデアロウ

(六) 彼ハ一緒ニ余ノ朋友及ビ余ガ出會シ

○汝ハ前置詞及ビ目的格ニ向テノ規則ヲ繰返スデアロウ

規則四 前置詞ハ目的格ニ支配スル、「彼ハ英倫ニ於テ住ヒシ」「彼等ハ家カラ行ヒク」ノ如シ

○前置詞ハ會テ理會サル、カ

備考 前置詞ハ屢々理會サル、

「余ハ數里歩行セシ」(數里ヲ通シテ)

「彼ハ家ニ行キシ」(家ニ迄)

余ハ彼及ビ彼女ト談話セシ (彼女ト共ニ)

神ガ余輩ニ澤山ノ幸福ヲ與ヘル (余輩ニ迄)

余ハ彼ニ何モチ否ニ能ハヌ (彼ニ迄)

彼ハ彼ノ父ト同シアル (彼ノ父ニ迄)

余輩ハ河ニ近ク住ム (河ニ迄)

like 及ビ near 又ハ high ト云フ詞ハ或者ニ由テ前置詞トシテ考ヘラル、然レナガラニツノ最後ノ例ニ於テノ如ク彼等ノ後ニ理會サレタル前置詞ト考ヘル、其レガ尙多ク正シク見ユル、チ注意セヨ

避ケラルベキ錯誤

○前置詞ノ用ヒニ於テ避ケラルベキ重モナル錯誤ハ何デアルカ

錯誤一 主格ト共ニ其レノ使用、「誰ニ迄汝ハ話シ爲セシカ」或ハ「誰ニ迄汝ハ話シ爲セシカ」ニ向テ「誰ガニ迄汝ハ話シ爲セシカ」ノ如シ

錯誤二 間違タル前置詞ノ使用、譬ハ

陸ガ平原ニ於テ成立ツ (平原カラ)

彼ハ渴キニ向テ死セシ (渴キニ付テ)

○獨立格ニ向テノ規則ヲ繰返セ

規則五 名當或ハ叫歎ノ仕方ニ由テ用ヒラレタル名詞ハ獨立格ニ於テアル、譬ハ
若爾日余ニ汝ノ書物ヲ與ヘヨ

祖先ヨ何處ニ彼等ハアルカ

○書物ノ標題、章ノ首、等ヲ組立ル所ノ詞ハ如何ニ分解サル、カ

備考 書物ノ標題、章ノ首、等ニ於テ詞ガ文章ヲ完全ナラシムルベク補ハレテハナラヌ其

レハ然ル後他ノ文章ノ如ク分解サレベシアル、譬ハ

「新約全書」ハ「是ハ新約全書デアアル」ニ代ル

「規則第五」ハ「是ガ規則第五デアアル」ニ代ル

第二 代名詞

○汝ハ代名詞ニ向テノ規則ヲ繰返スデアロウカ ●規則第六 代名詞ハ人稱、性、及ビ數ニ於テ彼等ノ先立詞ト一致セテハナラヌ、例之ハ「人ガ彼レノ國ヲ出立セシ」其レハ費サル、所ノ時ハ永久費サル、

○代名詞ガ單數ニ於テノ二ツ又ハ尙多クノ先立詞ニ迄一緒ニ拘ハルキニ如何ナル數ニ於テ其レガアラテハナラヌカ ●備考一 代名詞ガ單數ニ於テノ二ツ又ハ尙多クノ先立詞ニ迄一緒ニ拘ハルキニ其レガ複數ニ於テアラネバナラヌ、「ヨエームス及ビウイリアムガ彼

等ノ母ヲ扶助スル(彼ノ母デアラヌ)ノ如シ

然レモ若シ單數ニ於テノ先立詞ガ同シ人或ハ物ニ迄拘ハルナラバ代名詞ガ單數ニ於テアラネバナラヌヲ注意セヨ、「親切ナル良人及ビ父ガ彼ノ場處ヲ空處ニ遺シタ」ノ如シ

○代名詞ガ單數ニ於テノ二ツ或ハ尙多クノ先立詞ニ迄別々ニ拘ハルキニ其レガ如何ナル數ニ於テアラネバナラヌカ ●備考二 代名詞ガ單數ニ於テノ二ツ或ハ尙多クノ先立詞ニ迄別々ニ拘ハルキニ其レガ單數ニ於テアラネバナラヌ、惹迷斯モ又維廉モ彼ノ書物ヲ好マヌ(彼等ノ書物デアラヌ)

父ハ彼ノ生命ヲ失ヒシ而シテ息子ハ彼ノ生命ヲ失ハザリシ(彼等ノ生命デアラヌ)ノ如シ

○集合名詞ハ何デアアルカ(第五十二節ヲ見ヨ)

○先立詞ガ集合名詞デアアルトキニ代名詞ノ數ガ何デアアラテハナラヌカ ●備考三 先立詞ガ集合名詞デアアルキニ代名詞ハ關係ガ總體トシテ集合ニ迄爲サレ或ハ其レヲ形造ル所ノ一個物ニ迄爲サル、ニ從テ單數或ハ複數ニ於テアリ得ル、例之ハ「集會ガ其レノ會合ヲ終リシ」集會ガ彼等ノ説ニ於テ分ヌレシ

○其レノ先立詞が異ナリタル人稱ノ者デアルキニ代名詞ノ人稱ハ何デアルカ

備考四 先立詞が異ナリタル人稱ノ者デアルトキニ代名詞が第三(人稱)ニ迄撰擇ニ於テ
第二人稱ト而シテ他ノ者ノ各ニ迄撰擇ニ於テ第一(人稱)ト一致セバナラヌ例之ハ、「汝及
ビ彼ハ汝ノ道ヲ行キ得ル」
「汝、彼レ、及ビ余ハ余輩ノ公權ヲ剝奪サル、」

○代名詞ハ其レノ先立詞ニ向テ名詞ノ外ノ或ル物ヲ持チ能フカ

備考五 代名詞ハ其レノ先立詞ニ向テ文章ヲ持チ得ル、例之ハ「彼ハ危難ニ於テアル而シテ
彼レハ其レヲ見ヌ」
「彼ハ彼自身ヲ制シ能フ其事ハ彼ノ唯一ノ安泰デアアル」

○代名詞ハ曾テ先立詞ナシニ用ヒラル、カ

備考六 代名詞ハ時トシテ或ル先立詞ナシニ用ヒラル、例之ハ「其レハ雨降ル」
「彼等ハ王
ガ死シテアルト云フ」
「彼レ其人ハ有徳デアアル所ノ彼ハ幸福デアアルデアロウ」

避ケラルベキ錯誤

○如何ナル錯誤ガ代名詞ノ使用ニ於テ避ケラルベシアルカ

錯誤一 單數ノ代名詞ニ向テ複數ノ用ヒテ避ケヨ、例之ハ「各ノ者ガ彼等自身ニ向テ應答

セバナラヌ(彼レ自身)」

錯誤二 複數ノ代名詞ニ向テ單數ノ使用ヲ避ケヨ、例之ハ「虚飾及ビ高慢ハ直チニ其レ自
身ヲ顯スデアロウ(彼等自身)」

錯誤三 間違タル人稱ノ使用ヲ避ケヨ、例之ハ「汝及ビ彼ハ彼ノ家ニ行キ得ル(汝ノ家)」

第三 形容詞

○汝ハ形容詞ニ向テノ規則ヲ與ヘルデアロウカ

規則第七 形容詞ハ名詞及ビ代名詞ヲ制定スル、例之ハ「甘キ林檎」
「彼ハ善クアル」

○何時形容詞ガ名詞ナシニ用ヒラル、カ如何ニ彼等ガ分解サル、カ

備考一 形容詞ハ時トシテ理會サレタル名詞ヲ制定スル、例之ハ
善人ハ幸福デアアル(善キ人)

或ハ其レガ終リノ例ニ於テノ如ク名詞トシテ用ヒラル、

○形容詞ハ曾テ名詞ニ迄關係ナシニ用ヒラル、カ

備考二 形容詞ハ時トシテ獨立ニ委シン云ハハ名詞ニ迄關係ナシニ用ヒラル、例之ハ「善

クアルコハ幸福アルベシアル」

是處ニ Good 及び happy が獨立ニ用ヒラル、

避ケラルベキ錯誤

○如何ナル錯誤ガ形容詞ノ使用ニ於テ避ケラレベシアルカ

錯誤一 形容詞ニ向テ副詞ノ用ヒテ避ケヨ、例之ハ「彼等ハ安全ニ到着セシ(安全デ)」

錯誤二 those ナル形容詞ニ向テ them ナル代名詞ヲ用ユルコトヲ避ケヨ、例之ハ「余ニ彼等ニ林檎ヲ與ヘヨ(其レ等ノ林檎)」

錯誤三 this here 及び that there ナル俗語ノ用ヒテ避ケヨ、例之ハ「此ノ此處ニ家(此家)(其ノ其處ニ或ハ其ノアル書物、其ノ書物、)」

錯誤四 二重ノ最上級ノ使用ヲ避ケヨ、例之ハ「最モ多ク貴キ」或ハ「最モ貴キ」ニ向テ「最モ多ク最モ貴キ」

錯誤五 其レヲ許シ爲サヌ所ノ形容詞ヲ比較スルコトヲ避ケヨ、例之ハ重モナル、最上ノ、等ニ向テ最モ重モナル、最モ最上ノ

第四 働詞

○汝ハ働詞及ビ其レノ主格ニ向テノ規則ヲ繰返スデアロウカ

規則第八 働詞ハ數及ビ人稱ニ於テ其レノ主格ト一致スル、例之ハ

私ハ愛スル 彼ハ愛スル

○名詞或ハ代名詞ノ外ニ何か働詞ニ迄主格デアリ得ルカ

備考一 名詞トシテ用ヒラレタル或ル詞又ハ詞ガ働詞ニ迄主格デアリ得ル、例之ハ「惱ム」
「ハ人ノ運デアル」

其處ニ to suffer ナル不定法ガ is ニ迄主格デアル

善ヲ爲スコトハ義務デアル

其處ニ to do good ナル句ガ is ニ迄主格デアル

「彼ガ有罪デアル」ガ證據立ラレシ」

其處ニ that he is guilty ナル文章ハ has been proved ニ迄主格デアル

○何時複數ノ働詞ガ單數ノ主格ヲ持テ得ルカ

備考二 單數ニ於テノニツ或ハ尙多クノ名詞或ハ代名詞が同シ働詞ニ迄一緒ニ主格デア
ルキニ働詞ハ複數ニ於テアラテ子ハナラヌ、例之ハ

「馬利及ビ若爾日ガ學校ニ迄行シ(soes デアラヌ)」

然レモ單數ニ於テノ主格が同シ人或ハ物ニ拘ハルキニ働詞ガ單數デアラテ子ハナラヌ
ヲ注意セヨ、例之ハ「親切ナル良夫及ビ父が出立シタ(have departed デアラヌ)」

○何時ニツ或ハ尙多クノ主格ヲ持ツ所ノ働詞ガ單數ニ於テアラテ子ハナラヌカ

備考三 若シ單數ニ於テノ主格ガ働詞ニ迄別々ニ拘ハルナラバ働詞ガ單數デアラヌバナ
ラヌ、例之ハ「馬利モ又若爾日モ學校ニ行カヌ(sō デアラヌ)」

○若シ單數ノ働詞ヲ要スル所ノ主格が異ナリタル人稱ノ者デアアルナラバ働詞ハ如何ナル人
稱ニ於テアラテ子ハナラヌガ

備考四 若シ單數ノ働詞ヲ要スル所ノ主格が各異ノ人稱ノ者デアアルナラバ働詞ハ其レニ
迄最モ近クアル所ノ其レト一致セ子ハナラヌ、例之ハ「アーンモ又余モ其レニ付テ聞カナ
ンヌ」汝モ又アーンモ其レニ付テ聞カナンヌ」

○集合名詞ハ何デアアルカ(第五十二節ヲ見ヨ)

○主格が集合名詞ニ於テアルキニ如何ナル數ニ於テ働詞デアラテ子ハナラヌカ

備考五 主格が集合名詞デアアルキニ働詞ハ意味ニ從テ單數或ハ複數ニ於テアリ得ル、例
之ハ「集會が大キクアリシ」集會ガ彼等ノ説ニ於テ分メレシ」

第一ノ例ニ於テ assembly ガ單數ノ働詞ヲ持ツ如何トナレバ其レガ集合ノ意味ニ於テ
用ヒラル、故ニ而ノ第二ノ例ニ於テ其レガ複數ノ働詞ヲ持ツ如何トナレバ其レガ其
組成ル所ノ種々ノ人ニ拘ハル故ニ

○何時名詞ガ獨立主格ニ於テアルカ

備考六 獨立主格名詞或ハ代名詞及ビ分詞ガ文章ノ自他ノ上ニ依頼ナシニ一緒ニ用ヒラ
ル、キニ彼等ハ獨立主格ニ於テアルベク云ハル、例之ハ「太陽ハ昇リツ、雲ハ散セシ」

此處ニ(太陽)ト云フ詞ハ(昇リツ)、ト云フ詞ヲ以テ獨立主格ニ於テアル而シテ wind
ト

云フ詞ハ形容詞ノ如ク第七規則ニ從テ 目ナル名詞ヲ制定スル所ノ分詞デアアル

避ケラルベキ錯誤

○如何ナル錯誤ガ働詞及ビ其レノ主格ニ關係ヲ以テ避ケラレベクアルカ

錯誤一 主格ニ向テ目的格ヲ用ユルコトヲ避ケヨ「彼ヲ及ビ余ヲ其處ニアリシ(彼ハ及ビ余ハ)」ノ如シ

錯誤二 單數ノ働詞ニ向テ複數ノ(働詞)ヲ用ユルコトヲ避ケヨ、「ゼームスハ彼ノ兄弟ト共ニ行ヒタ(Has gone)」彼等ノ各ガ同意シタ(Has consented)」

錯誤三 働詞ナシニ主格ヲ殘シ置クコトヲ避ケヨ、「此規則ガ若シ其レガ注意サレシナラバ多クノ面倒ガ省カル、デアロウ (若シ此規則ガ注意サレシナラバ)」

○其レノ前ノ者ノ通り働詞ノ後ニ同シ格ノ名詞ニ向テノ規則ヲ繰返セ

規則第九 不移行働詞或ハ被働聲ニ於テノ働詞ハ兩方ノ詞ガ同シ物ニ拘ハルキニ其レノ前ニノ通り其レノ後ニ同シ格ヲ持チ得ル譬ヘバ

余ハ世界ノ光リデアル○惹迷斯ハ輔佐ト爲サレシ
彼ハ商人デアアルベク期望スル○余輩ハ商人デアアルベク彼ヲ希フ
避ケラレベク錯誤

○如何ナル錯誤ガ働詞ノ後ノ主格ニ關ツテ避ケラレベクアルカ

錯誤 働詞ノ後ニ主格ニ向テ目的格ヲ用ユルコトヲ避ケヨ、「其レハ余デアラザリシ」ニ向テ「其レハ余ニアラザリシ」ノ如シ

○汝ハ不定法ニ向テノ規則ヲ繰返スデアロウカ

規則第十 不定法ハ一般ニ働詞、名詞、或ハ形容詞ニ依テ支配サル、「彼女ハ學ブコトヲ勉メル」彼ハ行クベク急ギニ於テアル「余ハ死スルベク近クアル」ノ如シ

○如何ナル他ノ仕方ニ於テ不定法ガ用ヒラレ得ルカ

備考一 僅カノ場合ニ於テ不定法ガ前置詞ヲ續ギ得ル、「彼ハ將ニ行カントシテアル」ノ如シ

或ハ接續詞ヲ「續キ得ル」「彼ハ留マルコトヨリハ尙好ク爲シ能フ」ノ如シ
或ハ其レガ獨立ニ用ヒラレ得ル、「眞實チ白狀スルベク余ハ惡シクアリシ」ノ如シ
或ハ其レガ名詞トシテ用ヒラレ得ル、「遊ブコトハ樂シクアル(規則第八、備考一ヲ見ヨ)ノ如シ

○何時名詞或ハ代名詞ガ不定法ノ前ニ目的格ニ於テアルベク云ハル、カ

備考二 不定法ガ名詞或ハ代名詞ニ由テ支配サル、キニ終リノ者ガ以前ノ者ノ前ニ目的格ニ於テアルベク云ハル、「我等ハ商人デアルベク彼ヲ希フ」ノ如シ

此處デ him(彼ヲ)ト云フ詞ハ to be ノ前ニ目的格ニ於テアル

○不定法ノ記標ナル to ハ曾テ廢セラル、カ

備考三 不定法ノ記標ハ一般ニミル、キク、カンズル、カインズル、ナス、ユルス、ナル働詞ノ原働聲及ビ或ル他ノ者ノ後ニ廢セラル、「余ハ其レヲ爲ス彼ヲ見シ」○余チシテ行カシメヨ」ノ如シ

避ケラルベキ錯誤

○如何ナル錯誤ガ不定法ノ使用ニ於テ避ケラルベクアルカ

錯誤一 不定法ノ間違タル時チ用ユルイチ避ケヨ、「余ハ彼ヲ見タベク期望セシ (見ルベク)

錯誤二 to ト云フ詞ノ不適當ナル使用或ハ廢除ヲ避ケヨ、「彼ハ行ンベク要セヌ (彼ハ

行ンチ要セヌ)」

分詞

○分詞又ハ分詞法ハ何デアルカ(第二百七節チ見ヨ)○如何ニ分詞ハ分解サル、カ

規則第十一 分詞ハ分解サル、

第一形容詞及ビ働詞トシテ、「船ガ瀬ニ進入リツ、破損サレシ」ノ如シ

此處ニ entering ガ形容詞トシテ規則第七ニ從テ ship ト一致スル而シテ働詞トシテ規

則第八ニ從テ rapids ナル目的格チ支配スル

第二 彼等ハ名詞及ビ働詞トシテ分解サレ得ル、「船ガ瀬ニ進入ル」ニ於テ沈ミシ」或ハ

「船ノ瀬ニ進入ル」ニ於テ其レガ沈ミシ」ノ如シ

此處ニ entering ハ規則第四ニ從テ upon ニ由テ支配サレツ、目的格ニ於テノ名詞ト

ナル而シテ亦規則第三ニ從テ rapids ナル目的格チ支配シツ、働詞デアル

第三 彼等ハ彼等ガ分詞狀ノ形容詞ト呼ハル、トニ唯形容詞トシテ用ヒラレ得ル、「鼻ル所ノ而シ没スル所ノ太陽」ノ如シ

此處ニ rising 及 setting が分詞狀ノ形容詞デアル
第四 彼等ハ、彼等ガ分詞狀ノ名詞ト呼バル、キニ唯名詞トシテ用ヒラレ得ル、「太陽ノ具ルコト而シテ没スルコト」ノ如シ

此處ニ rising 及 setting が分詞狀ノ名詞デアル

○分詞ガ名詞トナリ而シテ形容詞ニ由テ先立タル、キニ何ニ因テ其レガ繼ガレテバナラヌカ備考 分詞ガ名詞ト成リ而シテ形容詞ニ由テ先立タル、キニ其レガ前置詞ニ由テ繼ガレテバナラヌ、「適當ナル規則ニ付テ氣付ルコトニ依テ」又ハ「適當ナル規則ヲ氣付ルコトニ依テ」ノ如シ

此處ニ the 及 by が兩方用ヒラレ又ハ兩方廢セラレテバナラヌ

避ケラルベキ錯誤

○如何ナル錯誤ガ分詞ノ使用ニ於テ避ケラレベクアルカ

錯誤一 過去分詞ニ向テ過去直説法ヲ用ユルコトヲ避ケヨ、「余ガ始メタ」ノ代リニ「have begun」「夫ガ盜マレシ」ノ代リニ「It was stole」ノ如シ

錯誤二 過去直説法ニ向テ分詞ノ使用ヲ避ケヨ、「余ハ彼ヲ見シ」ノ代リニ「余ハ彼ヲ見ラレタル」「余ハ其レヲ爲セシ」ノ代リニ「余ハ其レヲ爲サレタル」ノ如シ

一般ノ錯誤

○働詞ノ使用ニ就テ如何ナル一般ノ誤謬ガ此處ニ枚擧サレ得ルカ

錯誤一 一般ノ眞實ヲ陳ルコトニ於テ過去ヲ用ユルコトヲ避ケヨ、「彼レノ論理ガ其處ニ神ガアリシコトヲ證據立テシ(アル)ノ如シ

錯誤二 互ヒト結付ラレタル時ニ於テ詞ノ不適當ナル廢脱ヲ避ケヨ、「彼ハ今迄持ツ而シテ疑ヒナシ信實デアルデアロウ(今迄アツタ)ノ如シ

錯誤三 would ニ向テ had ノ使用ヲ避ケヨ、「彼ハ尙好シ其レヲ爲サヌデアロウ」ノ代リニ He had better not do it」ノ如シ

註 Had do ハ分解サレ能ハヌ然シナガラ would do ハ能フ

第五 副詞

○汝ハ副詞ニ向テ規則ヲ與ヘルデアロウカ

規則第十二 副詞ハ動詞、形容詞、及ビ他ノ副詞ヲ制限スル、「彼ハ賢ク働ク」ノ如シ

何レガ副詞デアルカ而シテ其レガ第一ノ例ニ於テ何ヲ制限シ爲スカ○第二ノ「例」ニ於テ如何○第三ノ「例」ニ於テ如何

○副詞句ハ何デアルカ而シテ如何ニ彼等ハ分解サル、デアロウカ

備考一 副詞句ハ at length the more in vain in the mean time ノ如キ箇様ナル言顯シテアル而シテ彼等ハ副詞トシテ分解サレ得ル

○其處ニ全キ文章ヲ制限スル所ノ或ル副詞ガアルカ

備考二 yes no 及ビ amen ナル副詞ハ全キ其レニ迄彼等ガ關係スル所ノ全キ文章ヲ制定スルト考ヘラル得ル

避ケラルベキ錯誤

○如何ナル誤謬ガ副詞ノ用ヒニ於テ避ケラルベシアルカ

錯誤 副詞ニ向テ形容詞ノ用ヒテ避ケヨ、「彼ハ彼ガ其處ニ在ラザリシ」ト明白デ云フ

(明白ニ)「彼ハ行クデアロウカ又ハ行カヌデアロウカ」トテ其レハ不確カテアル (Not)ノ如シ

第六 接續詞

○接續詞ニ向テノ規則ハ何デアルカ

規則第十三 接續詞ハ詞或ハ文章ヲ結合スル、「約翰及ビ馬利カ行クデアロウ」現世ハ短クアル然シナガフ來世ハ長クアル」ノ如シ

○何レガ接續詞デアルカ而シテ其レガ第一ノ例ニ於テ何ヲ結合シ爲スカ

○第二ノ「例」ニ於テ如何

○接續詞ハ曾テ對ニ於テ用ヒラル、カ

備考 時トシテ接續詞或ハ接續詞及ビ副詞ガ對ニ於テ用ヒラル、「約翰及ビ馬利ハ兩方行クデアロウ」約翰又ハ馬利ハドチカ行クデアロウ」失ナハル、トハ雖モ彼ハ尙ホ變ヒラル、」ノ如シ

最も多少通常對ニ於テ用ヒラレタル接續詞或ハ接續詞及ビ副詞ハ次ノ者デアル

1. Both— and:
2. Either— or:
3. Neither— nor:
4. Though— yet:
5. Though— still:
6. Whether— or:
7. If— then:
8. Because— therefore:
9. More— than:
10. other— than
11. Else— than
12. Elte— but
13. Not— but:
14. Not— nor:
15. As— so;
16. As— as:
17. So— as:
18. So— that

註 第一、第二、第四、第五、第七、及ビ第八ノ對ニ於テノ一ツハ屢々脱セラル、ア
 及ビジョンガ來リシ○アーンガ來リシトハ雖モ余ハ彼女ヲ見ザリシ」等ノ如シ○第
 十五、第十六、及ビ第十七ノ對ハ兩方副詞デアリ得ル○比較級ガ屢々 Equalニ由テ繼ガ
 ル、

避ケラルベキ錯誤

○如何ナル錯誤ガ接續詞ノ用ヒニ於テ避ケラレベクアルカ

錯誤 符合スル所ノ接續詞ノ不適當ナル用ヒヲ避ケヨ、「其レハ惹迷斯デモ又ハ彼ノ兄弟
 デモアラザリシ」(NOT)ノ如シ

○點書法

點書法ハ作文ニ於テ用ヒラレタル種々ノ點ヲ適當ニ用ユルコトノ術デアル○此等ノ重モナ
 ル者ハ句點(・)半重點(˙)重點(●)及ヒ段落點(⋮)デアル○此等ハ總テ各異ノ長サノ讀
 切ヲ表ハス

短クアル所ノ單文章ニ於テ其處ニ一般ニ一ノ讀切ガアラヌ譬ヘハ
 「生命ハ短クアル」我等ハ毎日神カラ詐ヲ受取ル」

然レモ單文章ガ長キキニ而シテ最モ多クノ組立文章ハ點ノ用ヒチ要スル

規則一 主格ガ其レト結付ラレタル種々ノ詞ヲ持ツキニ其處ニ一般ニ働詞ノ前ニ次ニ句
 點ガアル、「疑ヒナキ正直ノ人ハ尊敬ヲ支配スルデアロウ」ノ如シ

規則二 副詞及ビ副詞句ハ屢々句點ニ依テ分タル、「然レモ彼等ハ大ナル危難ノ模様ニ
 於テアル」我等ハ或ル場合ニ於テ我等ノ氣質ヲ失フベク要セヌ」ノ如シ

「彼ハ常時其處ニアル」ノ如シ

規則三 同格ニ於テノ名詞ハ其レガ其レト結付ラレタル種々ノ詞ヲ持ツキニ句點ニ依テ重モナル名詞カラ分タル、「蘇格蘭ノ女王ナル馬利ハ英倫ノ女王ナル彼女ノ從妹ナル以利沙伯ニ由テ首刎チラレシ」ノ如シ

規則四 彼等ニ屬スル所ノ詞ト一緒ニ彼等ガ制限スル名詞ヲ繼グ所ノ形容詞ハ句點ニ依テ文章ノ自餘カラ分タル、「愛情ニ付テ充分ナル神ハ彼ノ造物ニ於テ憐ンデ見ル」人ヲ以テ積マレタル船ガ深キ水ノ中ニ沈ミシ」ノ如シ

規則五 働詞ガ理會サル、所ノ其處ニ句點ガ用ヒラル、「句點ハ短キ讀切チ表ハス、重點ハ尙長キ者ヲ(表ハス)」ノ如シ

規則六 其レノ分詞ト共ニ獨立主格、獨立不定法、及ビ獨立格ハ句點ニ依テ文章ノ自他カラ分タル、「太陽ガ昇ル所ヲ雲ガ消散セシ」「廉直デアルベク余ハ彼ヲ見ル」ヲ好マヌ」「ブラタスニ過失ハ我等自身ニ於テアル」ノ如シ

規則七 複合文章ヲ形作ル所ノ單純文章ハ一般ニ句點ニ由テ分タル、「技術ハ長シアル而シ時ハ快シ過キテアル」「愛情ハ心ヲ太メル然ルニ私欲ハ其レヲ縮メル」然シナガラ縱令私ハ彼レノ苦痛ヲ見ントハ雖モ私ハ其レヲ輕メ能ハザリシ」ノ如シ

規則八 ニツノ詞ヨリモ尙多ガ同シ組成ニ於テ結付ラル、キニ彼等ハ句點ニ由テ分タル、「彼ハ賢キ、有徳ナル、而シ仁惠アル人デアリシ」「馬利或ハ約翰或ハ維廉ガ是處ニアルデアロウ」「我等ハ彼レヲ助言シ、諫戒シ而シ慰メ得ル」ノ如シ

備考 ニツノ詞ガ唯斯様ニ結合セラル、キニ其處ニ一ノ句點ガアラヌ「名譽及ビ徳ハ彼レニ屬スル」

接續詞ガ脱セラル、ニ非サレバ、「名譽徳ガ彼レニ屬スル」

或ハ兩方ノ詞ガ同シ事物ニ關係スルニ非ザレバ、「A或ハAハ不定冠詞デアアル」

半重點ハ句點ヨリハ尙長キ讀切ニ向テ用ヒラレ而シ重點ハ尙ホヨリ長キ者ニ向テ(用ヒラル、)○段落點ハ文章ノ終結ニ於テ用ヒラル、○其レガ又零語ニ向テ用ヒラル、譬ヘ

Dr (Doctor 醫師) Capt (Captain 略) Oct (October 略) A. (Anno 或ハ Ante 略) B.

(Baron or Book の略)ノ如シ

以前ノ點ノ外ニ種々ノ記標ガ左ノ如ク作父ニ於テ用ヒラル、

疑問ノ記號(?)ハ問ヲ表ハス

叫歎ノ記號(!)ハ叫歎ノ詞或ハ文章ヲ表ハス

横線(—)ハ不慥ナル讀切ヲ表ハス

括弧()ハ文法上ノ組成ニ必要ナラザル詞ヲ包括スル

畧字點(·)ハ this ニ向テ this ノ如ク或ルモノガ除脱サル、トチ示ス或ハ其レガ領格ヲ表ハス

連字線(—)ハ複語ニ於テ用ヒラル、譬ハ tea-pot(茶壺)ノ如シ

分音點(·)ハ両方ノ母韻ガ響カサル、トチ示ス譬ハ aerial(空氣)ノ如シ

節(§)ハ書物ノ小サキ區分ニ向テ用ヒラル、

略字線(—)ハ文字ガ脱セラル、トチ示ス譬ハ Charles ノ代リニ C—S ノ如シ

章(¶)ハ新ラシキ趣意ヲ表ハス

引句標()ハ引用ヲ表ハス

指示()ハ趣意ニ迄注意ヲ向ケルベク用ヒラル、

(*) (+) (++) (||) ノ如ク種々ノ記號或ハ文字或ハ文字ガ縁端ニ於テノ傍註ニ拘ハルベク用ヒラル、

○再説及ビ結局

○汝ガ此書物ニ於テ學ビツ、アツタ所ノ學問ハ何ント呼ハル、カ ●第二百二十五節 其レハ英文法ト呼ハル、

○英文法ハ何デアアルカ ●第二百三十六節 英文法ハ設定サレタル使用口從テ英國ノ語ヲ話スベク而シテ書クベク余等ニ教ヘル所ノ學問デアアル

○汝ハ設定サレタル使用ニ依テ何チ理會シ爲スカ ●第二百三十七節 其レハ善キ話者及ビ記者ノ過半ニ由テ實用サル、所ノ其ノ使用デアアル

○如何ナル一般ノ區別ノ下ニ英文法ガ付テ論ゼラル、カ ●第二百三十八節 四ツノ下ニ字學、詞學、作文學、及ビ音律學ナリ

○字學ハ何ヲ含ミ爲スカ●第二百二十九節 字學ハ詞ノ綴字及ビ發音ヲ含ム

○此分課ハ何處ニ教ヘラル、カ●第二百四十節 其ハ重モニ書物及ビ辭書ヲ綴ルヲニ於テ教ヘラル、

第二 詞學

○詞學ハ何ヲ含ミ爲スカ●第二百四十一節 詞學ハ詞ノ分類、彼等ノ性質、及ビ彼等ノ本源ヲ含ム

註 文法ノ此部ハ此書物ノ第一編及ビ第二編ニ於テ教ヘラレタ

第三 作文學

○作文學ハ何ヲ含ミ爲スカ●第二百四十二節 作文學ハ互ヒニ迄詞ノ關係及ビ文章ノ組成ヲ含ム

註 文法ノ此部分ハ充分ニ此書物ノ第三編ニ於テ而シテ亦第二編ニ於テ著シキ擴リニ迄

第四 音律學

○音律學ハ何ニ付テ論シ爲スカ●第二百四十三節 音律學ハ詩ノ組成ヲ支配スル所ノ主意ニ付テ論スル

指示 枝其レハ音ヲニ此學問ノ尙多シ進歩シタル階級ニノミ屬スル所ノ分課ナル音律學ノ主意ノ格段ナル説明ニ向テ而シテ此書冊ノ中ニ含マレタル總テノ題目ニ於テノ尙遙カナル教授ニ向テ學者ハ今「ヒテテ」ノ詳解スル文法書ニ依頼サル、

明治二十年十一月三十日版權免許
同二十年十二月 日 出 版

正價十二錢

新潟縣平民

譯 者

齋 藤 八 郎

東京麹町區元平川町貳番地

東京府平民

出 版 人

松 成 伊 三 郎

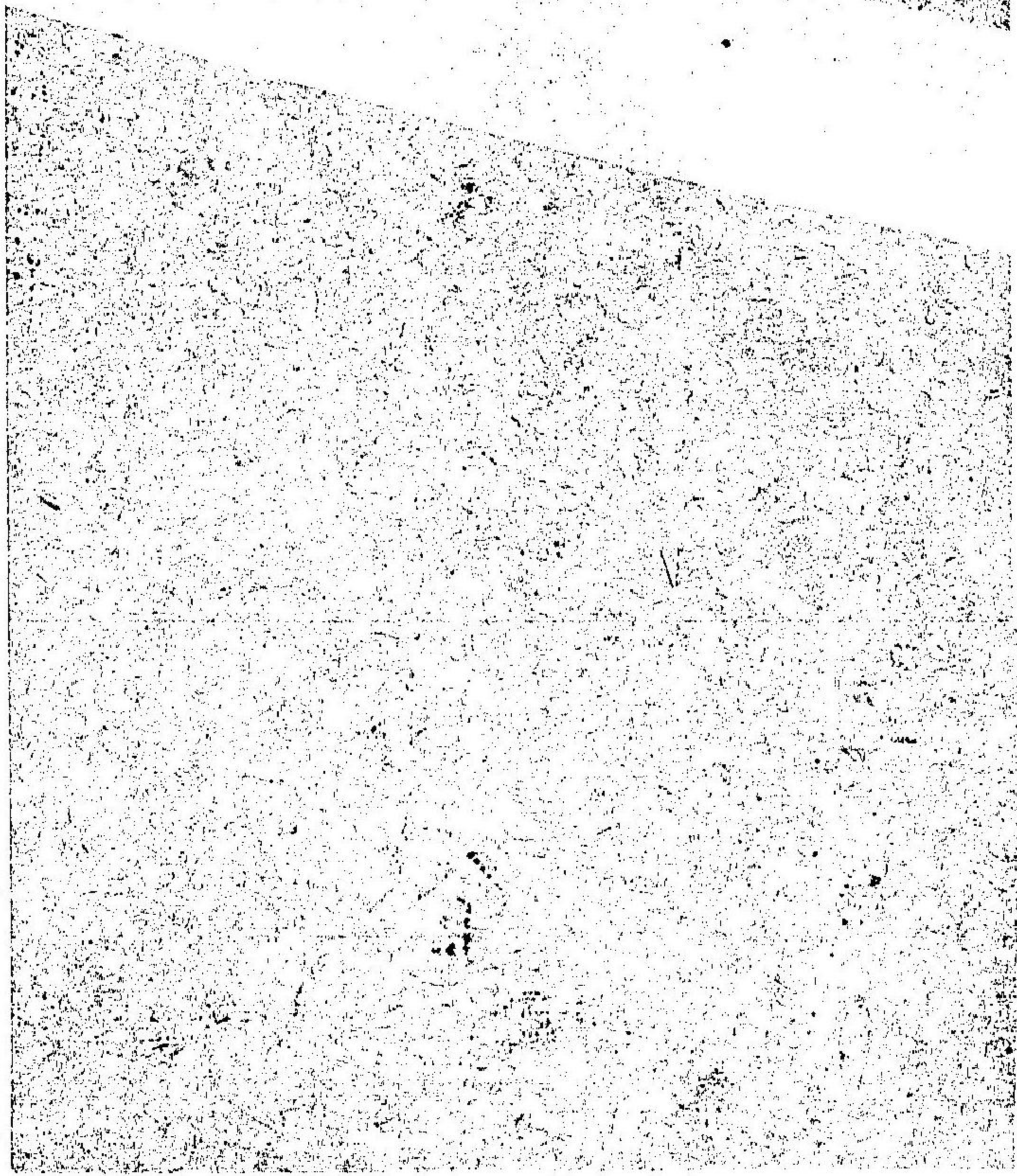
東京京橋區南傳馬町三丁目六番地

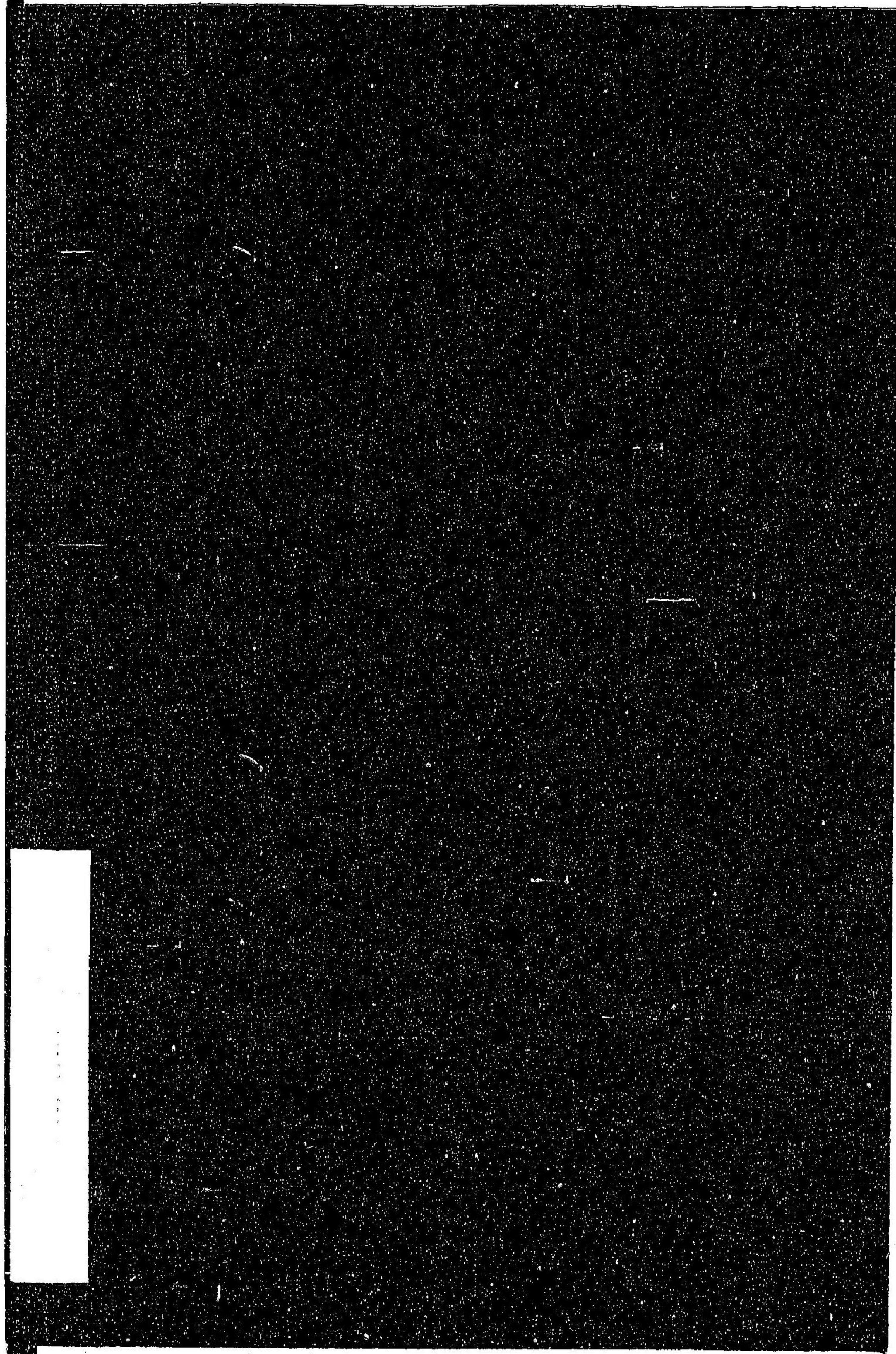
發兌書肆

松 成 堂

東京々橋區南傳馬町三丁目六番地







1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40
41
42
43
44
45
46
47
48
49
50
51
52
53
54
55
56
57
58
59
60
61
62
63
64
65
66
67
68
69
70
71
72
73
74
75
76
77
78
79
80
81
82
83
84
85
86
87
88
89
90
91
92
93
94
95
96
97
98
99
100

特27

506

ピネヲ氏英文典直訳

国立国会図書館

083234-000-4

特27-506

英文典直訳 (ピネヲ氏)

斎藤 八郎/訳

M20

DAH-0722

